

# 年 次 報 告



2023

一般社団法人四日市青年会議所



◎一般社団法人四日市青年会議所2023年度スローガン

## 持続可能な幸せを デザインしよう！

2023年度  
第69代理事長

野呂 京志

---

◎公益社団法人日本青年会議所 2023年度スローガン

Drive our dreams

日本の魅力で世界を席卷しよう

◎公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会 2023年度スローガン

世界に目を向け、夢を語ろう

力漲る東海の創造

◎公益社団法人日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会 2023年度スローガン

志高く 歩み続けよう



直前理事長  
長谷川淳士



副理事長  
伊藤尚貴



副理事長  
後藤亮太



副理事長  
長尾計享



専務理事  
稲垣雄介



監事  
川口真輝



監事  
石川史織



顧問  
矢野陽一



雨港曾長  
江育銓

目 次

- ・ 理事長報告 . . . . . 6
- ・ 2023年度理事長公職 . . . . . 7
- ・ 副理事長、専務理事、監事報告 . . . . . 8
- ・ 総会並びに理事会報告 . . . . . 14
- ・ 事業日程 . . . . . 18
- ・ 委員会報告 . . . . . 24
- ・ 日本JC・東海地区・三重ブロック派遣報告 . . . . . 45
- ・ 例会出欠率 . . . . . 52
- ・ 2023年度決算報告 . . . . . 55

## 2023年度 事業報告並びに決算報告

## 理事長報告

2023年度 第69代理事長  
野呂 京志

私が理事長職をお預かりするにあたって最も意識していたことは、2023年度の活動を通じて四日市青年会議所の全会員をこれまでよりも更に幸せにする、ということです。ではどのようにそれを達成するのか、そのようなことを考えたとき、真っ先に頭に浮かんだのがJC宣言にある「輝く個性が調和する未来を描き」という言葉であり、これが2023年度の道標だと確信しました。

私は、2019年に初めて四日市青年会議所で理事をお受けして、まちづくりを担当する部門の委員長職をお預りしました。その際に、2021年に開催が決定していた三重とこわか国体におけるeスポーツの全国大会を四日市市に誘致しよう、という目的を持ってeスポーツ大会を実施いたしました。四日市青年会議所としての誘致活動はその例会のみとなりましたが、その後も例会にて設立した四日市eスポーツ協会という団体で自ら前向きに活動を続け、実際に全国都道府県対抗eスポーツ選手権 2021 MIEという予算規模数千万の全国大会を四日市市総合体育館で実施することができました。現在もeスポーツを通じて東海地方を発展させるべくeスポーツ活動に邁進しております。

上述の通り四日市青年会議所としての誘致活動は2019年に完結しています。しかし、その後も誘致が成功するまで自ら前向きに活動し現在も続いているのは、私の大切なeスポーツで、私の大切な地域、大切な仲間が更に幸せになるということが確信できていたからです。そのような活動が皆さんから生まれて欲しい、自らの個性を活かした活動が継続されることによって末永く幸せが創出されて欲しい、そういう想いを全て本年度のスローガン「持続可能な幸せをデザインしよう!」に込めました。自分なりに必死で会員の幸せを願って取り組みました、皆さんこの一年間いかがだったでしょうか。

ビジネス委員会はLGBTを取り上げ、ブランディング委員会は情報リテラシー、まちの未来創造委員会は謎解きウォークラリー、渉外委員会は常に私のそばでサポートをしてくれて、青少年育成委員会はティーボール、会員交流委員会はスカイランタン、事務局は文字通り誰一人取り残さない委員会運営を実現してくれました。私は、各委員会の委員長を中心にそれぞれが個性を活かして素晴らしい活動を展開してくれたと感じています、感謝しかありません。

また、会員の皆さんが更に幸せになることを願って、皆さんのご協力のもと2023年度は様々なことにチャレンジさせていただきました。理事長所信が短くなったこと、委員会数を増やして副委員長を理事から外したこと、ビジネス委員会を新設したこと、例会を持たず渉外業務を専門的に行う委員会を新設したこと、議案フォーマットをシンプルなものに変更したこと、臨時総会を例会扱いにしたこともそうです、他にも多くのチャレンジを行いました。それら全てが良い方向に働いた訳ではありません、しかし会員の幸せにつながった部分もあるということは間違いのないですし、それらを経て反省した点、こうすればよかったと思う点などは2024年度に引継いでいきます。すでに一部2024年度が改善してくれた部分もあります。このように、全会員が仲間たちの幸せを願って考えることをやめずに向上し続ける、そのような活動が末永く続いていくことによって持続可能な幸せがデザインされていくと確信しております。

最後に、予定者段階から現在に至るまで持続可能な幸せをデザインするため活動に邁進してくださった会員の皆さん、全ての対外関係者の皆様、理事長という素晴らしい成長の機会を提供してくれた四日市青年会議所にあたためて心から感謝を申し上げますと共に、これから残っている現役としての3年間は、理事長経験者という立場から全力で四日市青年会議所の活動をサポートし続けることを誓って、私の理事長報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

持続可能な幸せを  
デザインしよう！

2023年度 理事長公職

1.	四日市市海洋少年団後援会	会 員
2.	四日市ハーフマラソン大会実行委員会	監 事
3.	暴力団追放三泗地区 市町民会議	理 事
4.	大四日市まつり実行委員会	委 員
5.	四日市港まつり実行委員会	委 員
6.	四日市市青少年育成市民会議	委 員
7.	四日市市社会福祉協議会	理 事
8.	四日市市「男女がいきいきと働き続けられる企業」表彰選考委員会	委 員

対外事業窓口

1.	海洋少年団	青少年育成委員会 会員交流委員会
2.	四日市市献血推進	ビジネス委員会 ブランディング委員会 まちの未来創造委員会
3.	四日市港まつり実行委員会	青少年育成委員会 会員交流委員会

## 副理事長報告

副理事長 伊藤 尚貴

本年度、野呂理事長の掲げる「持続可能な幸せをデザインしよう！」をスローガンに、新設委員会のビジネス委員会と、拡大も担うブランディング委員会を担当しました。

國安院委員長率いるビジネス委員会では、2度の例会を通じて今まであまり明言化してこなかったビジネスの機会についてビジネス委員会なりに表現してくれました。メンバーはもちろん、メンバー以外にも訴求しやすい内容であり、多くのオブザーバーに来てもらい、青年会議所に対する興味をもってもらうことにもつながっていました。「頑張って良かった。この達成感は何物にも変え難くJCでしか味わえない。」、「最後まで続けてきて良かった。」と例会や1年を振り返って委員長が言っていました。國安院委員長の行動力や積極性には私自身も学ぶ点が多かったですし、メンバーもそれを支えてくれていました。國安院ゆみがJCロスになりかけていることを一年前、誰が想像できたでしょうか。

海老名委員長率いるブランディング委員会では、年間の拡大、オリエンテーション活動や例会を通じて、新たな人と出会う魅力を感じてもらうことや、資質向上によるブランディングに努めてくれました。「嫌だと思ふことを諦めてJCを楽しもうと思ってからJCが楽しくなってきた。」、「人を好きになることは誰にも負けない。だから実は自分、ブランディング委員長向いてると思うんです。」と言ってこれまでの殻を破って一年間青年会議所活動と強く向き合った海老名委員長だからこその11月度例会であり、それについてきてくれたからこそ新入会員を含めた委員会メンバーも前向きになったのだと、年の瀬が近づくにつれて盛り上がりを増す委員会を見ると感じてなりません。

2度目の副理事長として、前回以上に理事長所信と向き合って一年間活動をしてきたつもりです。その結果は間違いなく良い形で出たと確信しています。委員会が前向きになれるような課題を自身の委員会と結びつけて考えることで、委員長中心にとっても前向きに取り組んでいました。その姿勢はメンバーにも波及し、一年が終わる頃には新入会員も自分から様々な行動をしてくれるようになりました。委員会数を増やして、代わりに委員会毎の人数を減らしたことに對してメリットデメリットはあったとは思いますが、同室でできる限り動くことで、お互いが責任感を持ちながら対等のポジションで各々の内容に意見やアドバイスしあってくれていて、同室としての好影響は非常に多かったと実感しています。

副理事長は中間管理職であり、1番つまらないと良く聞きますがとても楽しい一年で、他者が意識変革していく姿を1番多く見られた年でした。このような機会を与えてくれた野呂理事長に感謝するとともに、一年間ともに楽しみながら活動してくれたメンバー一同に敬意を表し、年次報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



## 副理事長報告

副理事長 後藤 亮太

本年度、野呂理事長のもと、「持続可能な幸せをデザインしよう！」のスローガンを信念に、活動をさせていただきました。私が担当させていただいたのは、まちの未来創造委員会と渉外委員会で初めての2つの委員会を受け持つこととなりました。2023年度体制が動き始めてから、いつものような本次年度交錯とはまた一つ大変さが加わり自己の成長につながる始動となりました。

まちの未来創造委員会は3月度例会から10月度例会まで地域の方を巻き込んだ事業を実施しました。3月度例会では地域の能動的な方々と意見交換を行い、そこで選ばれたチームの方々とパートナーシップを結び10月度例会で「謎解きウォークラリーinよっかいち」を開催することができました。事業の説明は議案や事業の資料など拝見いただけると幸いです。そして渉外委員会は年始の新年式典を担当させていただき、通年の各種大会のとりまとめと参加推進を実施いたしました。各委員会で事業を構築や資料を作る中で初めて委員長を拝命した委員長2名は青年会議所の丁寧さと繊細さを学んだ一年でした。なぜそこまでしなければならぬか、どうしてダメなのか、私の説明で理解しきれたとは思っておりません。しかし、委員長や委員会メンバーと共に活動し、議案の内容を議論することや参加推進など共に目標に向かって活動した時間を思い出してもらえば、幾分かは青年会議所の本質に気づいていただけたのではないかと考えます。

私自身が今年最も印象に残ったことは、担当しているメンバーに対して機会の提供をさせていただいたときに、喜んでではないですが受けてくれていました。そのメンバーがどこからどう見ても成長している姿を見た時に、喜びが溢れてきました。「よかった」「ありがとう」との言葉をもらった時は涙を堪えきれなかった時もあるほどです。

青年会議所は決して楽な団体ではありません。自身が機会を掴み、修練し、提供できる側になった時、私は初めて機会を提供する責任と喜びを得ることができました。今年初めての取り組みとして、機会を掴んだ後はメンバーが気持ちよく取り組んでいただけるように、ご家族と食事に行き青年会議所の話しや委員会の内容などを伝え、委員会などの活動風景の写真を送るなど周囲のケアを試してみました。本年度、自身の幸せは周囲の方が幸せであることをお話しされた理事長の信念のもと、他の家族の幸せも追求する必要があることに気づくことができました。評判も良く、今後も続けていく所存です。

最後に、この一年間で執行部である幸せを感じることができました。江上委員長と清水委員長には感謝を申し上げると共に、この機会をくださった野呂理事長、支えてくださった副理事長、寄り添ってくれた専務理事に感謝を申し上げ私の副理事長報告とさせていただきます。

## 副理事長報告

副理事長 長尾 計享

本年度、野呂理事長のもと「持続可能な幸せをデザインしよう！」をスローガンに一年間の活動を進めてまいりました。私が担当の青少年育成委員会と会員交流委員会では両委員会とも年間通じて多くの例会事業を担当し、理事長所信の達成に向けて日々邁進しました。

青少年育成委員会は、4 月度例会、9 月度例会（サルビア基金交付事業）、サルビア基金積立活動と青少年をターゲットとした例会と事業を担当していただきました。地域の青少年の非認知能力の向上を目的とし、それを達成するための手法を検討し、多くの青少年やその保護者に向けて発信できました。またサルビア基金積立自動販売機では多くの設置企業様にご賛同いただき、数多くの新規設置、スキーム変更をしていただくことができました。九鬼委員長のブレない青少年に対する想いをメンバーが理解し、どんなことがあっても突き進んだこの委員会は、一年間を通じて強い結束が生まれ、次代の青少年育成への一助になった委員会でありました。

会員交流委員会では、5 月度例会、11 月度事業、12 月度例会と担当をし、会員間の交流を促進してきました。5 月度例会では四日市 JC シニアクラブの皆様と、11 月度事業ではメンバーのご家族やご協力者のみなさんと交流を深め、互いに関係性を深くできました。また 12 月度例会では本年度卒業する卒業メンバーと在籍メンバーとが想いを共有し合い、今後の自身の活動へ意欲的になるような設えをし、次年度へつながる例会をおこないました。ここ数年コロナ禍において薄れつつあったシニアクラブの皆様との交流や会員同士の交流の機会を今以上に取り戻し、多くの方々と関わっていききたいという森山委員長の交流への思いから、メンバー一丸となって交流を深めるための活動に邁進できました。

私自身初の副理事長を経験させていただき、大変苦勞をしました。年当初はやる気に満ち溢れていた気持ちは、執行部としての責任、副理事長としての責務が重圧としてのしかかり、それに押しつぶされることも多くありました。またこの役職が会にとってどれだけ重要な役割を果たすのかを痛感し、当時私が理事を受けた際に担当していただいた副理事長、専務理事の皆様がどれだけの想いを受け止めてくれていたのかが身に染みてわかりました。ただ役職を受けた以上一年間やり続けたいという想いの中から、自分に何ができるのか、またどれだけ成長できるのかを考え、行動し続けました。ふがいない点が多くあり、野呂理事長をはじめとする執行部の皆様にはご迷惑をおかけしました。すべてにおいて感謝しかありません。また、頼りない副理事長でも担当した委員会の委員長の二人には感謝してもしきれません。このような人間関係が自分を成長させ、より大きな力になると経験として確信しました。一年間ありがとうございました。

## 専務理事報告

専務理事 稲垣 雄介

本年度、野呂理事長が掲げる「持続可能な幸せをデザインしよう！」のスローガンのもと、会務を統括する専務理事という要職を務めてまいりました。野呂理事長の女房役として、会のスタートラインを引くところから携わる形でのスタートとなり、様々な観点で理事長の理想をどう具現化できるか、頭をひねり指を動かし走り回る毎日でありました。

本年度は様々な新たな視点で取り組みを行った年でした。新たな理事長所信の形を示していただき、委員会数も近年にない数の6委員会1局体制となり、委員会基本方針を新たな形で練り上げていただく過程の中で、副理事長の皆様とも連携を取りながら、予定者段階を走りきり通常総会、新年式典を迎えました。そして、いかに野呂理事長が理事長としての務めを全うしていただきやすい環境を整えるか、一年間そこを必死に考え、時に助言も申しあげ、会務を預かる立場として一歩先を見通すことを考えて行動してまいりました。

まず思うのは、副理事長を2回務めさせていただいた後の専務理事でもあり、これまでの経験を活かして執行部としての考えをどうまとめていけるかが重要でありました。他の副理事長の皆様も執行部経験者が多くおり、14回を重ねた正副専務ミーティングを中心に、大変助けていただきましたことに感謝申し上げます。

事務局を担当する立場としても、刑部事務局長と河本財務委員長を筆頭に、各種総会の設営、必要な資料の作成、物品の発注、財務の管理、等々の庶務も大きなミスなく終えることができました。特に資料締めにおいては、ご両名には負担を掛けましたが、おかげさまで本年度は臨時理事会を開催せずに通常のスケジュールで終えることができました。ご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

そして、当会議所の事務員として長年勤めていただいた小川さんに代わり、新たに前田さんに勤めていただく形になりました。無事に引き継ぎもでき、前田さんのご協力のもと、庶務全般が行われておることを会員の皆様にもご理解いただければありがたいと思います。

本年度は例年に比べて専務理事が管轄する業務を減らしていただいたこともあり、どうか一年間を終えることができましたが、やはりこの役職が抱える業務量は非常に多いものであると感じます。組織として専務理事の業務をどう分割していけるのかを考えることも必要であり、その点でも本年度は副理事長の皆様にご協力いただきました。いかに運動の効果を高めながらも、効率よく会務を運営していけるかを来年度以降も専務理事経験者として考えていければと思います。

本年度は本当に多くの皆様と関わりました。そして苦言も多く申しあげてまいりました。どうかご容赦いただければと思います。そんな専務理事の苦労を全て包み込んでいただいた野呂理事長に深く感謝を申しあげ、専務理事報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

## 監事報告

監事	川口 真輝
監事	石川 史織

本年度は野呂理事長のもと「持続可能な幸せをデザインしよう！」をスローガンに一年間理事長所信達成とLOMの更なる発展に寄与すべく努めてまいりました。本年度は新型コロナウイルスの規制緩和により委員会、理事会、例会をはじめ対外事業も全てがリアル開催可能となりましたが、新型コロナウイルス感染症がもたらした社会問題は新たな社会モデルを構築し、我々は青年経済人として新たな社会課題と向き合うタイミングを迎えました。野呂理事長は本年度コロナ禍で生まれた社会課題と向き合ううえで身近な人を幸せにすることをテーマに一年間の活動を進めることを理事長所信に込められました。そしてそれは持続可能であることがポイントとされました。我々が青年会議所活動を行う意義は、身近な人を幸せにする活動から始まり、身近な人の幸せを感じた時、自身のやりがいや存在意義、そして活動の意義を見出すことができ、前向きに物事に向き合うことができるようになるのだと力強く発信されました。本年度監事としてすべきことは、全会員が身近な人の幸せを考え、自身が前向きに青年会議所活動に注力できているかどうか、その活動において全会員と一緒に理事長所信達成に向かっていけるかどうかを見ること、そして会が適切かつ発展的に運営されているかどうかを見続け、支える事だと考えました。時代の変化とともに変えていくこと、挑戦を後押しすること、本年も多くの成長の機会と変革を迎えることができたと思います。しかしそれと同時に変えてはならないこと、青年会議所としての本質の部分を蔑ろにしないことを伝え続けてきました。時に厳しく発信することもありましたが、過去先輩たちがそうであったように、愛をもって最後まであきらめず全力で支え続けてきたつもりです。一年間の中で様々なメンバーの言動の変化と成長を感じることができ、皆で理事長所信達成に向けて邁進してくれた日々はとても輝いて見えました。持続可能な幸せをデザインすることは本年度のスローガンではありますが、青年会議所活動をするうえで、また自分自身の人生を考えるうえでとても大切な感覚であったと実感しています。これからの四日市青年会議所に関わる全ての会員が、本年度のスローガンと理事長所信達成への軌跡を自らの糧として、次年度以降の活動がより輝かしく価値のある時間と日々となることを心から祈念いたします。本年度、監事という重要な役職に携われたことを誇りに思い、関わってくださった全ての方々と、もたらされた多くの機会に心より感謝いたします。

最後に、本年度実施された全ての例会及び事業が理事長所信に沿った活動として遂行され、会計処理も適切に行われたことを併せてご報告させていただきます。

## 顧問報告

顧問 矢野 陽一

本年度、野呂京志理事長のもと、顧問の役職を拝命し予定者から理事長のアドバイザーとしての役割をさせていただけたことに心から感謝を申し上げます。顧問という役職は定款23条に記載されている通り、必要な場合のみ設けられる役職であり通年であるものではありません。従って私の役割としては理事長の相談に応じることが最大の役割であるということをお大前提にしており、必要以上に出すぎた真似はないように心がけておりました。しかし、これまで12年間の間において四日市青年会議所に所属させていただき、心の底からお世話になった者であるからこそ伝えられることや、伝えなければいけないと思うことは遠慮なく伝えさせていただきました。勿論、私自身、完璧な人ではなければ青年会議所のことについて全てを知り尽くしている者でもありません。ただただ、言えることは青年会議所に対していつも全力で向き合ってきたという誇りと向き合うための気概はあると自負しております。ですから時には出すぎた真似になったこともあるかもしれません。そのように感じた方にはどうかそれも皆様のことと組織のことを考えた結果であるということをご理解いただきご容赦いただければ幸いです。

私自身、青年会議所に入会させていただいてからLOMでは様々な役職をさせていただきました。また、その中で青年会議所に入会していなければ掴みとることができない機会もたくさんいただきました。もちろん、その機会を掴めば楽しいことばかりではありませんし、必ず上手くいくということもありませんでした。しかし、それが極論、青年会議所に入会していなければ掴むことができない機会であると確信をしています。入会歴が10年を超えても、超えていなくても入会してから変わらない気持ち、強いて言えばこれまでの人生で変わらない気持ちは向き不向きより、前向きが一番であるということを確認に変えてくれたと今だからこそ言えることであります。会員の皆様にもあると思います。得意なこと苦手なこと、自分には向いていること、不向きなこと。しかし、それも全て前向きに取り組むことで必ず達成感を感じることができ、学び、気づくことができるということを皆さんは知っているはずです。

本年度以降、残る皆様には是非とも青年会議所で得られる4つの機会をふんだんに掴みとっていただき、貪欲な程に自己成長につなげていただくこと、また、私を含め本年度卒業される皆様は青年会議所において得た経験を活かし、本年度、野呂理事長が掲げられました、

「持続可能な幸せをデザインしよう！」を本年度だけにとどめずに、次年度以降も自ら率先して実行していただくことを切に願うと共に、私自身も実行しつづけることをお誓い申し上げ、重ねてではございますが一年間において顧問という役割をさせていただけたことに心から感謝を申し上げ、顧問報告とさせていただきます。ありがとうございました。

## 総会

1月10日(火)第123回通常総会 四日市市文化会館 第3ホール・WEB

一般社団法人四日市青年会議所 2022年度事業報告(案)承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2022年度決算(案)承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2023年度組織図(案)承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2023年度事業計画(案)承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2023年度事業日程表(案)承認の件

6月6日(火)第一回臨時総会 四日市市文化会館 第3ホール

一般社団法人四日市青年会議所 2024年度理事長予定者承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2024年度監事予定者選出の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2024年度理事予定者選出の件

7月25日(火)第二回臨時総会 四日市市商工会議所 ホール I

一般社団法人四日市青年会議所 2024年度理事予定者承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2024年度副理事長予定者承認の件  
一般社団法人四日市青年会議所 2024年度専務理事予定者承認の件

## 理事会報告

第1回 1月4日(火)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 一般社団法人四日市青年会議所 2023年度 理事長・副理事長・専務理事選定(案)承認の件
- 2) 一般社団法人四日市青年会議所 2023年度 理事予定者会議議決事項(案)一括承認の件
- 3) 一般社団法人四日市青年会議所 2022年度 旧理事会議決事項(案)承認の件
- 4) 一般社団法人四日市青年会議所 2023年度 委員会事業計画修正(案)並びに予算修正(案)承認の件
- 5) 一般社団法人四日市青年会議所 2023年度 委員会人員構成修正(案)承認の件
- 6) 一般社団法人四日市青年会議所 2023年度 申し合わせ事項修正(案)承認の件
- 7) 休会希望者(案)承認の件
- 8) 人と出会う魅力と拡大の楽しさを感じながら推進する会員拡大活動(案)承認の件
- 9) 「年間登録料一括預り金」制度(案)承認の件
- 10) 2月度例会(案)承認の件
- 11) 2023年度収支予算修正(案)承認の件

第2回 2月2日(水)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件
- 2) 人と出会う魅力と拡大の楽しさを感じながら推進する会員拡大活動修正(案)承認の件
- 3) 3月度例会(案)承認の件

第3回 3月2日(木)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新規事務局員採用(案)承認の件
- 2) 次年度役員選考委員会設置並びに委員選任(案)承認の件
- 3) 入会希望者(案)承認の件
- 4) 休会希望者(案)承認の件
- 5) 4月度例会(案)承認の件
- 6) 5月度例会(案)承認の件

第4回 4月4日(火)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件
- 2) 入会希望者(案)承認の件
- 3) 第123回通常総会収支決算(案)並びに事業報告書(案)承認の件

第5回 4月28日(金)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 青少年育成基金・サルビア基金積立活動(案)承認の件
- 2) 第一回臨時総会(案)承認の件
- 3) 新年式典収支補正予算(案)承認の件
- 4) 2月度例会収支決算(案)並びに剰余金処分(案)・事業報告書(案)承認の件

第6回 6月2日(金)ルーム8階開催ハイブリッド)

- 1) 入会希望者(案)承認の件
- 2) 第一回臨時総会修正(案)承認の件
- 3) 第二回臨時総会(案)承認の件
- 4) 新年式典 収支決算(案)並びに剰余金処分(案)・事業報告書(案)承認の件
- 5) 3月度例会収支決算(案)並びに剰余金処分(案)・事業報告書(案)承認の件

第7回 7月4日(火)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件
- 2) 8月度例会(案)承認の件

第8回 8月1日(火)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 入会希望者(案)承認の件
- 2) 後援名義使用(案)承認の件
- 3) 9月度例会・青少年育成基金・サルビア基金交付事業(案)承認の件
- 4) 10月度例会(案)承認の件
- 5) 4月度例会収支補正予算(案)承認の件
- 6) 5月度例会収支決算(案)並びに剰余金処分(案)・事業報告書(案)承認の件

第9回 9月5日(火)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件
- 2) 入会希望者(案)承認の件
- 3) 4月度例会収支決算(案)並びに剰余金処分(案)・事業報告書(案)承認の件

第10回 10月3日(火)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 10月度例会修正(案)承認の件
- 2) 11月度例会(案)承認の件
- 3) 11月度事業(案)承認の件
- 4) 第一回臨時総会収支決算(案)並びに事業報告書(案)承認の件



第11回 11月2日(木)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 新入会員(案)承認の件
- 2) 入会希望者(案)承認の件
- 3) 12月度例会(案)承認の件
- 4) 第二回臨時総会収支決算(案)並びに事業報告書(案)承認の件
- 5) 8月度例会収支決算(案)並びに剰余金処分(案)・事業報告書(案)承認の件

第12回 12月15日(金)ルーム8階開催(ハイブリッド)

- 1) 一般社団法人四日市青年会議所 2024年度委員会事業計画(案)並びに予算(案)承認の件
- 2) 一般社団法人四日市青年会議所 2024年度収支予算(案)承認の件
- 3) 後援名義使用(案)承認の件
- 4) 新入会員(案)承認の件
- 5) 入会希望者(案)承認の件
- 6) 人と出会う魅力と拡大の楽しさを感じながら推進する会員拡大活動収支補正予算(案)承認の件
- 7) 9月度例会・青少年育成基金・サルビア基金交付事業収支補正予算(案)承認の件

## 2023年度 事業日程

### 【1月】

4日	1月度理事会	ルーム
5日	四日市商工会議所 賀詞交歓会	都ホテル
9日	JCI豊田 新年賀詞交歓会	名鉄トヨタホテル
10日	第123回通常総会	四日市市文化会館
11日	JCI名古屋 賀詞交歓会	名古屋観光ホテル
17日	新年式典	四日市市文化会館
18日	「男女がいきいきと働き続けられる企業」 表彰選考委員会 第2回正副理事長会議	四日市総合会館 ルーム
20日	京都会議 日本青年会議所 理事会 東海地区協議会 第1回会員会議所会議 第1回リーダー育成会議 全体会議訪問	京都市内各所 国立京都国際会館 国立京都国際会館 ヤサカ四条烏丸ビル
21日	京都会議 日本青年会議所 総会	京都市内各所 国立京都国際会館
22日	京都会議	京都市内各所
24日	四日市ハーフマラソン（仮称）の状況説明 （四日市市役所 スポーツ課より）	東海地所株式会社
25日	第5回正副専務ミーティング	WEB
27日	献血啓発活動	近鉄四日市駅北口・ふれあい モール
29日	出向者を励ます会	華王殿
31日	企業が環境に配慮したMOTTAINAI運動 オンライン説明会	WEB

### 【2月】

1日	矢野陽一君を励ます会	プラトンホテル四日市
2日	令和4年度 暴力追放三泗地区市町民大会	四日市商工会議所 1階会議所 ホール
	2月度理事会	ルーム
8日	2月度例会	四日市市文化会館
12日	第1回会員会議所会議	二富士
16日	第3回正副理事長会議	ルーム
17日	組織深化委員会訪問（三重ブロック）	ルーム
18日	日本青年会議所 理事会	WEB
20日	理念共感セミナー	ルーム
21日	第6回正副専務ミーティング	WEB
26日	会頭公式訪問	華王殿

### 【3月】

1日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
2日	3月度理事会	ルーム
9日	3月度例会	四日市市文化会館
10日	日本青年会議所 理事会	WEB
15日	3LOM合同会議・懇親会	柿安本店
16日	第4回正副理事長会議	ルーム
19日	第2回会員会議所会議	じばさん三重
22日	四日市市青少年育成市民会議 第5回運営委員会 第7回正副専務ミーティング	四日市総合会館  トラットリア・サリーチェ
23日	じゃがいもクラブ 3月度例会 懇親会	名四カントリークラブ HILLS四日市本店
24日	第3回リーダー育成会議 全体会議訪問	東京ビックサイト
25日	東海地区協議会 第1回会員会議所会議 日本青年会議所 総会 日本青年会議所 組織フォーラム	タイム24 研修室141 東京ビックサイト 東京ビックサイト

### 【4月】

4日	第5回臨時正副理事長会議 4月度理事会	ルーム ルーム
6日	第2回 会員拡大会議訪問（三重BC協議会）	四日市商工会議所
8日	新社会人DREAM PROJECT in YOKKAICHI 2023	四日市市文化会館
12日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
13日	サルビア基金募金型自動販売機設置の御礼訪問	クリーニングヨコイ 洗濯王生 桑店
14日	第5回正副理事長会議	ルーム
15日	東海フォーラム2023運営委員会 訪問	ルーム
18日	ウェルビーイング経営フォーラム （三重BC事業）	津リージョンプラザ お城ホー ル
19日	じゃがいも4月度例会	四日市の里ゴルフクラブ
22日	日本青年会議所 理事会 4月度例会	WEB 四日市市三浜文化会館
24日	第1回 四日市港まつり実行委員会	四日市港ポートビル
26日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
28日	5月度理事会	ルーム

### 【5月】

2日	第8回正副専務ミーティング	WEB
7日	第3回会員会議所会議	戸田家
10日	四日市商工会議所 創立130周年記念式典・記念講演会	四日市市文化会館

11日	2023 JCI ASPACジャカルタ大会	インドネシア ジャカルタ
12日	2023 JCI ASPACジャカルタ大会	インドネシア ジャカルタ
13日	2023 JCI ASPACジャカルタ大会	インドネシア ジャカルタ
14日	2023 JCI ASPACジャカルタ大会	インドネシア ジャカルタ
15日	四日市JCシニアクラブ総会 5月度例会・創立記念式典	プラトンホテル四日市 プラトンホテル四日市
19日	第6回正副理事長会議	ルーム
21日	公益社団法人津青年会議所 創立70周年記念式典並びに記念祝賀会	ホテル津センターパレス
22日	じゃがいもクラブ中日本地区大会出場者慰労	焼肉十九 西新地店
24日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
25日	第9回正副専務ミーティング	WEB
26日	一般社団法人桑名青年会議所・ 一般社団法人四日市青年会議所 JC野球交流会	四日市市霞ヶ浦第3 野球場
30日	四日市市青少年育成市民会議 令和5年度第1回運営委員会	四日市市総合会館
<b>【6月】</b>		
1日	四日市市社会福祉協議会 第一回理事会 次年度理事長候補者発表	四日市市総合会館 HILLS四日市本店
2日	6月度理事会	ルーム
6日	第一回臨時総会	四日市市文化会館
7日	21世紀のエネルギーを考える会 令和5年度 総会 太鼓チーム練習	アスト津 有限会社服部建設工業
10日	JCカップU-11少年少女サッカー三重県予選大会	どんぐりパークこどもスタジアム
14日	日本青年会議所 正副会頭会議参加者訪問 太鼓チーム練習	ルーム 有限会社服部建設工業
15日	第7回正副理事長会議	ルーム
17日	じゃがいもクラブ6 月度例会 JCI 桑名・ JCI 四日市対抗戦	桑名カントリー倶楽部
18日	一般社団法人伊賀青年会議所 創立65周年記念式典・祝賀会	ヒルホテルサンピア伊賀
22日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
24日	日本青年会議所 理事会	WEB
25日	一般社団法人鳥羽青年会議所 創立55周年記念式典並びに記念祝賀会	戸田家
27日	第10回正副専務ミーティング	WEB
28日	大四日市まつり 第3回実行委員会 合同防災連携会議（東海地区協議会事業）	四日市市総合会館 WEB

## 【7月】

4 日	7 月度理事会	ルーム
6 日	JCI 桑名・JCI 四日市 交流会	HILLS 四日市本店
7 日	暴力追放三泗地区市町民会議・令和 5 年度総会	四日市市総合会館 8 階 視聴覚室
8 日	東海フォーラム 2023	静岡市内各所
	JC 青年の船「とうかい号」フィナーレ式典	浮月楼
9 日	第 4 回会員会議所会議	パブリックセンター 大研修室（桑名）
13 日	「とうかい号」御礼訪問（三十三銀行） 第 1 回青少年育成基金「サルビア基金」運営委員会	（株）三十三銀行 本店 ルーム
18 日	第 8 回正副理事長会議	ルーム
19 日	サルビア基金募金型自動販売機設置の御礼訪問 太鼓チーム練習	有限会社東川不動産 有限会社服部建設工業
21 日	日本青年会議所 理事会 第 7 回 リーダー育成会議 全体会議訪問	パシフィコ横浜 パシフィコ横浜
22 日	サマーコンファレンス 2023	パシフィコ横浜
23 日	サマーコンファレンス 2023	パシフィコ横浜
24 日	第 6 回臨時正副理事長会議	WEB
25 日	第二回臨時総会	四日市商工会議所
28 日	献血啓発活動 太鼓チーム練習	近鉄四日市駅北口・ふれあいモール 有限会社服部建設工業
30 日	ブロックアカデミー（三重 BC）	旧神社小学校（伊勢）
31 日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業

## 【8月】

1 日	8 月度理事会	ルーム
2 日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
3 日	太鼓チーム飾り付け	有限会社服部建設工業
4 日	四日市祭り JC 諏訪太鼓チーム	四日市市内
5 日	四日市祭り JC 諏訪太鼓チーム	四日市市内
6 日	四日市祭り JC 諏訪太鼓チーム	四日市市内
8 日	8 月度例会	四日市商工会議所
17 日	第 9 回正副理事長会議	ルーム
23 日	青少年育成市民会議 第 2 回運営委員会 第 7 回臨時正副理事長会議	四日市市総合会館 WEB
	第 11 回正副専務ミーティング	WEB
24 日	四日市市社会福祉協議会 第 3 回理事会	四日市市総合会館

【9月】

2 日	第 53 回三重ブロック大会 地域開発事業、式典・卒業式、大懇親会	津観音公園 津市センターパレスホール
5 日	9 月度理事会	ルーム
8 日	雨港国際青年商會公式訪問 国際交流会議	中華民国（台湾） 基隆市
9 日	雨港国際青年商會公式訪問 創立 40 周年記念式典・祝賀会	中華民国（台湾） 基隆市
10 日	第 5 回会員会議所会議	津商工会議所 丸之内ホール
15 日	第 10 回正副理事長会議	ルーム
16 日	日本青年会議所 理事会	WEB
20 日	第 8 回臨時正副理事長会議	WEB
	第 12 回正副専務ミーティング	WEB
24 日	9 月度例会	羽津北小学校
26 日	第 116 回じゃがいもクラブ秋季大会	鈴峰ゴルフ倶楽部

【10月】

3 日	10 月度理事会	ルーム
5 日	日本青年会議所 理事会	青年会議所会館
6 日	第 72 回全国大会 日本青年会議所 総会	東京都内 東京ビッグサイト
	第 9 回 リーダー育成会議 全体会議訪問	国連大学
7 日	第 72 回全国大会	東京都内
8 日	第 72 回全国大会	東京都内
	青少年育成市民会議 第 3 回 常任役員会・運営委員会	四日市市総合会館
10 日		
19 日	第 11 回正副理事長会議	ルーム
21 日	10 月度例会 リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会	四日市市内各所 ホテルグリーンパーク津
24 日	令和 5 年度総会	
25 日	じゃがいもクラブ 10 月度例会	四日市カンツリー倶楽部
31 日	第 13 回正副専務ミーティング	WEB

【11月】

2 日	11 月度理事会	ルーム
5 日	11 月度事業	四日市市なやプラザ
8 日	11 月度例会	四日市市文化会館
10 日	じゃがいもクラブ 11 月度例会	グレイスヒルズカントリー倶楽部
12 日	第 6 回会員会議所会議	名張市民センター
13 日	太鼓チーム練習	有限会社服部建設工業
14 日	令和 5 年度四日市市「男女がいきいきと働き 続けられる企業」表彰選考委員会	四日市市役所
21 日	第 12 回正副理事長会議	ルーム
22 日	卒業生を囲む会	Le Lien. RODAN
25 日	雨港国際青年商會 答礼訪問 国際交流会議	四日市市内
26 日	雨港国際青年商會 答礼訪問	四日市市内
27 日	雨港国際青年商會 答礼訪問	四日市市内
28 日	組織グループ グループミーティング訪問	じばさん三重
29 日	第 14 回正副専務ミーティング	WEB

【12月】

3 日	12 月度例会	都ホテル四日市
6 日	本次年度合同会員会議所会議	松阪商工会議所
8 日	第 9 回臨時正副理事長会議	WEB
9 日	じゃがいもクラブ 11 月度例会 じゃがいもクラブ 表彰式	菰野倶楽部ジャック・ニクラウスゴ ルフコース プラトンホテル四日市
12 日	12LOM の集い	THE FUNATSUYA
15 日	12 月度理事会	ルーム
16 日	日本青年会議所 理事会	WEB
17 日	リーダー育成会議 第 11 回全体会議訪問	四日市商工会議所
19 日	アサヒ飲料株式会社 担当者変更挨拶	東海地所株式会社
21 日	第 2 回青少年育成基金「サルビア基金」 運営委員会 第 13 回正副理事長会議	ルーム ルーム
26 日	旧 1 月度理事会	ルーム
29 日	ルーム大掃除	ルーム

## ビジネス委員会

委員長 國安院 ゆみ

2023年新設されたビジネス委員会では、野呂理事長が掲げられた「持続可能な幸せをデザインしよう！」のスローガンのもと、2回例会を行いました。

2月度例会では時代の変化を味方に〜ワクワク仕事をしよう〜と題し、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により激変した世界や日本の経済情勢を学び、変化や危機の本質を掴む認識力とそれに対応するための構想力を養いました。例会後半ではグループ討論を行うことにより、お互いの仕事のことや考えを知ることができたこと、言語化により思考の整理や学びのアウトプットとなりました。また、100%例会を達成することができ、2023年度総会后初の例会のいいスタートを切れたと思います。

8月度例会ではダイバーシティ経営〜多様な価値観を知りビジネスに活かす〜と題し、LGBTを含めた多様性を学び、自らも明日から実行できることを考えていただきました。四日市青年会議所の例会ではあまり前例のない「ドレスコード：自由（仕事の服装）」としたことで、メンバーの普段の仕事着姿を見る事ができ新鮮で話が広がりました。「多様な価値観」について、青年会議所を含め組織には今後必ず必要な知識であり考え方であるため、学ぶ場が必要だと感じていたので、この例会を開催できたこととても嬉しく感じています。

また両例会にはたくさんのオブザーバーが参加してくださり、ビジネスに特化した例会を行うことにより、青年会議所活動にご興味のある方をお誘いしやすく、また参加もしていただきやすいため、会員拡大活動にも貢献できる委員会になったと感じております。

我々20歳から40歳の青年経済人が青年会議所活動を行っていく上で、ビジネス活動というものは欠かせないものであり、さらに地域の活性化という点においても、ビジネスの発展は必要です。そのような大切なビジネスの委員会の委員長に任命いただいたことを誇りに思います。

初めての理事という事もあり、至らぬ点も多くありましたが、副理事長の素晴らしいご指導ご鞭撻があり全てを完遂することができました。さらには委員長のやりたいことをやろう、とどっしり支えてくれた副委員長、少ないメンバーで負担も多かったと思いますが、いつも前向きでいてくれた委員会メンバーに心から感謝いたします。また、同室理事でありますブランディング委員長、ブランディング委員会のメンバー、研修生の皆様にも惜しみないご協力をいただき、素晴らしい結果を残せたと自負しております。

一年間本当にありがとうございました。



スケジュール表

開催日	場所	内容
2022 年 9 月 22 日	ルーム	初顔合わせ 2023 年度理事長所信、委員会基本方針、年間事業概要、会員拡大について
2022 年 10 月 18 日	ルーム	委員会基本方針、年間事業概要、2 月度例会について
2022 年 11 月 15 日	ルーム	委員会基本方針・年間事業概要、2 月度例会、ブランディング委員会通年事業、会員拡大について
2022 年 12 月 16 日	ルーム	委員会基本方針・年間事業概要、通年事業、会員拡大、2 月度例会動員について
2023 年 1 月 6 日	ルーム	2 月度例会、会員拡大について
2023 年 2 月 7 日	ルーム	2 月度例会、会員拡大について
2023 年 3 月 14 日	ルーム	会員拡大、四日市 JAYCEE プログラム、2 月度例会（決算議案）、8 月度例会について
2023 年 4 月 13 日	ルーム	2 月度例会（決算議案）、8 月度例会について
2023 年 5 月 11 日	ルーム	8 月度例会について
2023 年 6 月 16 日	ルーム	8 月度例会について
2023 年 7 月 12 日	サムギョプサルと豚しゃぶ専門店 BBQ きいどん	8 月度例会について
2023 年 8 月 7 日	ルーム	8 月度例会、会員拡大、候補者との面談に関する情報共有フォーム、新入会員、11 月度例会について
2023 年 9 月 24 日	仲野整体整骨本院四日市	会員拡大、候補者との面談に関する情報共有フォーム、新入会員、11 月度例会について
2023 年 10 月 5 日	ルーム	8 月度例会（決算議案）、11 月度例会について
2023 年 11 月 7 日	ルーム	11 月度例会、会員拡大について
2023 年 12 月 7 日	石狩鍋若竹	11 月度例会（決算議案）、通年議案（会員拡大）について

## ブランディング委員会

委員長 海老名 大樹

本年度、ブランディング委員会は野呂理事長の掲げる「持続可能な幸せをデザインしよう！」というスローガンのもと、会員拡大と資質向上に関する活動をすすめてまいりました。大前提として会員拡大は組織の持続に不可欠ですが、加えて自分たちが「ともに活動したい」と思われる人財とならねば拡大活動が成立しないという視点をもって、研修生・新入会員・メンバーの資質向上に取り組みました。

拡大活動がメンバーにとっても新入会員の方にとっても「新たな出会いの機会」となる点に着目し、人と出会う魅力と拡大の楽しさを感じながら推進すると銘打って、お互いの交流の中に青年会議所の魅力を見出していただくことを重視しました。候補者・研修生・新入会員それぞれの背景や職種は多様です。これに対応するためにブランディング委員会のメンバーだけでなく、同室のビジネス委員会メンバーをはじめ、多くのメンバーに協力していただきました。面談や交流の際は委員会をまたいだ協力体制のもと受け入れる側として多様性を持つことで、候補者・研修生に楽しさを提供できるように努めた結果、研修期間の辞退者が出ないという好結果を得ることができました。

また11月度例会では、組織のブランディングに寄与するため、コロナ禍において話題となったフェイクニュースに焦点を当て、現代の情報社会において鍵となる情報リテラシーの向上に取り組みました。多数のオブザーバーを招待し、参加者が組織のリーダーとして俯瞰的な視点で情報を扱えるようになるため、多角的な情報取得について考えるワークを実施しました。これにより、メンバーの情報の取り扱いにおけるスキル向上を促進することで、組織のブランディング向上に寄与しました。参加者から感謝の言葉を多くいただき、積極的なフィードバックを得ることができました。またそれと同時に、研修生や新入会員の方には例会準備・設営・ファシリテーターなどの役割を担っていただき、会員が成長を感じられる機会を提供する難しさや、委員会メンバーが仲間となっていく過程を感じていただくことで、青年会議所の魅力の一端に触れていただくことができました。

このように会員拡大と資質向上に焦点を当てながら活動を展開した結果として、新入会員の方にはそれぞれ青年会議所活動の魅力や楽しみを見出していただけただけのものであると感じています。一人ひとりに宿ったこの「魅力と楽しみ」が次年度以降の拡大活動の助けとなり、四日市青年会議所が持続的な組織として歩んでいく際の大切な燃料になると確信しております。もちろん、いつも共に動いてくれた副理事長や副委員長はじめとした委員会メンバーがいなくては、このような成果は上げられませんでした。貴重な経験をさせていただいたことに感謝の意を表して結びとさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2022 年 9 月 22 日	ルーム	初顔合わせ 2023 年度理事長所信、委員会基本方針、年間事業概要、会員拡大について
2022 年 10 月 20 日	ルーム	委員会基本方針、年間事業概要、会員拡大、計画議案について
2022 年 11 月 15 日	ルーム	委員会基本方針・年間事業概要、2 月度例会、ブランディング委員会通年事業、会員拡大について
2022 年 12 月 16 日	ルーム	委員会基本方針・年間事業概要、通年事業、会員拡大、2 月度例会動員について
2023 年 1 月 6 日	ルーム	2 月度例会、会員拡大について
2023 年 2 月 7 日	ルーム	2 月度例会、会員拡大について
2023 年 3 月 14 日	ルーム	会員拡大、四日市 JAYCEE プログラム、2 月度例会（決算議案）、8 月度例会について
2023 年 4 月 17 日	ルーム	会員拡大、オリエンテーションタスクリスト、拡大用候補者リスト_230329、四日市 JAYCEE プログラムについて
2023 年 5 月 18 日	ルーム	会員拡大、オリエンテーションタスクリスト、11 月度例会、年間スケジュールについて
2023 年 6 月 20 日	ルーム	会員拡大、8 月度例会、11 月度例会、年間スケジュールについて
2023 年 7 月 12 日	ルーム	会員拡大、新入会員、11 月度例会、年間スケジュールについて
2023 年 8 月 7 日	ルーム	8 月度例会、会員拡大、候補者との面談に関する情報共有フォーム、新入会員、11 月度例会について
2023 年 9 月 24 日	仲野整体整骨本院四日市	会員拡大、候補者との面談に関する情報共有フォーム、新入会員、11 月度例会について
2023 年 10 月 5 日	ルーム	8 月度例会（報告）、11 月度例会について
2023 年 11 月 7 日	ルーム	11 月度例会、会員拡大について
2023 年 12 月 7 日	石狩鍋若竹	11 月度例会（報告）、通年議案（会員拡大）について

## まちの未来創造委員会

委員長 江上 富太

2023年度スローガン「持続可能な幸せをデザインしよう！」のもと今回3月度例会を構築し計画議案の初上程から約3ヶ月間におよぶ活動、運動をしてきました。委員長職は初めてで不安ばかりが先走る中、審議が取れた時は今からがスタートなのだと自分に言い聞かせて委員会メンバーと準備を行ってきました。3月度例会でご参加いただいた対内メンバー及び対外からの参加者の方々に何を伝え、何をもち帰ってもらうのかを真剣に考えて臨んだ例会でした。参加された全ての方々にまちの未来創造委員会としての熱い想いを伝え意識変革を起こし、魅力あるまちの実現につなげていくことを第一に考え委員会メンバー丸となって取り組めたことで例会終了後には心から達成感をあじわうことができましたと思います。

例会の内容は、まちの魅力を活かした様々なプロジェクトを企画立案いただき発表まで行っていました。その後参加者全員で投票し魅力あるまちづくり事業コンテストを開催しました。まちづくりに対して参画意識の醸成や自身の活動をまちづくりと捉え協働する重要性を理解すること、自身の活動をまちづくりと捉え参画を促進する重要性を理解すること、まちづくりへ能動的に参画したいという意識の醸成につなげていただくことを目的に3月度例会を開催できたことは青年会議所メンバーはじめ有識者、参画者、一般参加者といった参加者同士がまちづくりに対して同じ方向を向き協働のきっかけとこれからのまちの発展につながる可能性を生み出してくれると改めて思うことができました。

そして集大成である10月度例会を構築し計画議案の初上程から約3ヶ月間におよぶ活動、運動をしてきました。まちの魅力を活かした内容で四日市市の中心街を舞台にした集大成の大きなイベント事業である謎解きウォークラリーを企画し対外からの参加者の方々197名をお迎えし、まちの魅力を活かした様々な場所で謎解きをしながら商店街を周遊していただきました。このまちの魅力の理解を深めていただくとともに、身近な方々や他の地域の方々へこの地域の魅力を伝播していただくこと、このまちの魅力への理解を深め、まちの素晴らしさを他の地域の方に伝播しようと感じていただくことを目的にこの10月度例会を開催しました。そして青年会議所メンバーをはじめ協働いただいた地域のパートナーの方々がまちづくりに対して同じ方向を向き行動できたことはこれからのまちの発展につながる可能性を生み出してくれると改めて思うことができました。

今回一般参加や事業参画いただいた方の考えや意識が確実に変化し、各々においても地域の発展に伴う活動や地域貢献を踏まえた自社の取組に関する活動、まちづくりに関する事業を新たにやりたいという意識の醸成にもつながったことは、四日市青年会議所の運動として地域にインパクトのある例会が構築できたと考えます。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2022 年 9 月 22 日	四日市文化会館第 2 会議室	第 1 回まちの未来創造委員会委員会（初顔合わせ）
2022 年 10 月 18 日	花屋の Miri 店舗内	第 2 回まちの未来創造委員会委員会
2022 年 11 月 15 日	ルーム 6 階	第 3 回まちの未来創造委員会・渉外委員会合同委員会
2022 年 12 月 22 日	Zoom 内	第 4 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 1 月 15 日	ルーム 6 階	第 5 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 2 月 15 日	ルーム 6 階、四日市市役所	まちの未来創造委員会小委員会、四日市市訪問
2023 年 2 月 17 日	ルーム 6 階	第 6 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 3 月 8 日	ルーム 6 階	第 7 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 3 月 9 日	四日市市文化会館第 3 ホール	3 月度例会
2023 年 4 月 13 日	ルーム 6 階	第 8 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 5 月 18 日	ルーム 6 階	第 9 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 6 月 5 日	花屋の Miri 店舗内	第 10 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 7 月 10 日	ルーム 6 階	第 11 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 8 月 9 日	ルーム 6 階	第 12 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 8 月 10 日	四日市市内にて	10 月度例会、地域パートナーとの打ち合わせ
2023 年 8 月 24 日	ルーム 6 階	まちの未来創造委員会小委員会
2023 年 9 月 4 日	ルーム 6 階 グループ LINE 電話	まちの未来創造委員会、 地域パートナーミーティング第 1 回
2023 年 9 月 14 日	ルーム 6 階	第 13 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 9 月 22 日	ルーム 6 階 グループ LINE 電話	地域パートナーミーティング第 2 回
2023 年 10 月 2 日	ルーム 7 階 グループ LINE 電話	地域パートナーミーティング第 3 回
2023 年 10 月 13 日	ルーム 8 階 グループ LINE 電話	地域パートナーミーティング第 4 回
2023 年 10 月 18 日	四日市市役所（東側駐輪場 付近芝生エリア・スタート 地点）、四日市一番街商店 街周辺	地域パートナー現地視察
2023 年 10 月 20 日	ルーム 6 階	第 14 回まちの未来創造委員会委員会 地域パートナーミーティング第 5 回
2023 年 10 月 22 日	四日市市役所東側広場	10 月度例会
2023 年 11 月 10 日	ルーム 6 階	第 15 回まちの未来創造委員会委員会
2023 年 12 月 20 日	おいないさ	第 16 回まちの未来創造委員会委員会（忘年会）

## 渉外委員会

委員長 清水 一輝

本年度、渉外委員会は野呂理事長のもと新設された、新型コロナウイルス感染症の行動規制緩和から「楽しさ」「気づき」「学び」をもとに各種大会、公式事業への参加推進を目的に例会を受け持たず渉外業務に専念する委員会となりました。まずは年始に新年式典を四日市市文化会館第2ホールで開催し理事長所信を話していただきご来賓、各種関係者、四日市JCシニアクラブ会員の皆様に2023年度の運動方針にご理解とご協力をいただく体制をつくりました。また、四日市青年会議所メンバーには帰属意識を高めていただき、理事長の想いを再度認識し2023年度の運動への意識を高める場となりました。

その後の京都会議では麻生会頭の所信を聞き日本の一年間の方針と会頭の気持ちを知ることができました。津青年会議所の70周年、伊賀青年会議所の65周年、鳥羽青年会議所の55周年式典に参加しそれぞれの活動報告を聞くとともに周年を間近に控える四日市青年会議所のメンバーにとって設営方法、運営方法を学ぶ機会となりました。7月には渉外委員会から東海フォーラム運営委員会へ出向しているメンバーがおり、静岡の開催地まで行き四日市のメンバーで応援をするつもりでしたが、出向者の働きを見て逆にこちらが勇気づけられた気持ちとなりました。そしてサマーコンファレンスには日本の議長を輩出したLOMとして多くのメンバーで横浜の地に行き、矢野顧問がメインフォーラム会場で講演している姿は圧巻で感動しました。9月には三重ブロック大会に参加し津にて渉外委員会から出向しているメンバーの応援と活動している姿を知ることができました。また、雨港国際青年商會の40周年式典に参加するため台湾へ行き、国際交流会議では雨港国際青年商會の一年の活動報告を聞き、式典では野呂理事長が登壇し雨港の会長と提言書への署名をされ、台湾の滞在中は雨港メンバーからのおもてなしを受け大変有意義な時間を過ごしました。10月には全国大会で東京へ多くの卒業生の皆さまと日本の卒業式に参加しました。11月には雨港国際青年商會のメンバーが四日市に来てくだり国際交流会議では四日市青年会議所の一年間の活動報告をし、提言書で交わしたビーチクリーン運動を行うとともに四日市青年会議所の多くのメンバーとも交流していただきました。9月、11月の雨港国際青年商會との対面での交流はコロナ禍から4年ぶりに行うことができ国際交流の大切さ、楽しさを再認識できました。

本年、渉外委員長の役を受けたからこそ経験できた多くのことがありました。初理事として議案に向き合えば事務局へは多くの負担をかけ、渉外業務に取り組めば一人では対応できるものは少なく委員会メンバーに支えてもらい、雨港国際青年商會の交流では四日市青年会議所メンバーからの力添えがあったからこそ一年間の活動を終えることができました。この一年は多くの学びを得ることができました。本当にありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2022 年 9 月 26 日	ルーム	理事長所信読み合わせ、委員会基本方針、事業計画
2022 年 10 月 17 日	ルーム	委員会基本方針、事業計画
2022 年 11 月 15 日	ルーム	委員会基本方針、事業計画、新年式典年間登録料一括預かり金について
2022 年 12 月 20 日	ルーム	委員会基本方針、事業計画、新年式典年間登録料一括預かり金について
2023 年 1 月 6 日	ルーム	新年式典、京都会議について 年間登録料一括預かり金について
2023 年 2 月 6 日	ルーム	渉外業務、新年式典報告議案について
2023 年 3 月 8 日	ルーム	渉外業務、新年式典報告議案について
2023 年 4 月 6 日	ルーム	渉外業務、新年式典報告議案について
2023 年 5 月 8 日	ルーム	渉外業務、新年式典報告議案について
2023 年 6 月 9 日	ルーム	渉外業務、雨港国際青年商會について
2023 年 7 月 11 日	ルーム	渉外業務、雨港国際青年商會について
2023 年 8 月 22 日	ルーム	渉外業務、雨港国際青年商會について
2023 年 9 月 12 日	ルーム	渉外業務、雨港国際青年商會について
2023 年 10 月 17 日	ルーム	渉外業務、雨港国際青年商會について
2023 年 11 月 9 日	ルーム	渉外業務、雨港国際青年商會について
2023 年 12 月 13 日	ルーム	年次報告について

## 青少年育成委員会

委員長 九鬼 和大

2023年、野呂理事長が掲げられた「持続可能な幸せをデザインしよう！」のスローガンのもと、青少年育成委員会では「青少年の非認知能力の向上」というテーマに対して向き合い一年間、活動しました。

4月は、日本わくわく協会の柴田美香様をお招きし、親御様向けに向上心を育むことの重要性についてご講演いただきました。当日は多くの親御様や教育に携わる方々とともにわくわく講座を通じて、多くの親世代の方々に対して有意義な事業とすることができました。9月は、羽津北小学校様のグラウンドをお借りして、初めての子どもたちでも楽しく取り組めるティーボールを通じて、青少年のコミュニケーション能力と協調性を育む機会を設けました。子どもたちが主体となってチームリーダーを中心に作戦会議で話し合い、ミニゲームでどうやってチームが上手くなるか真剣に話し合う姿も見え、友達と話すことの大切さ、相手の意見も聞きながら目的に向かって進めることの重要性を学ぶ機会となりました。

また、サルビア基金に関しては、昨年度からのサルビア基金応援自動販売機設置を引き続き積立活動の中心として活動してまいりました。本年度は新たに23台の台数を設置していただくことができ、計50台近くのサルビア基金応援自動販売機が私たちの住まう町に拡大することができました。そして、広報面においても、賛同していただいた企業様への設置に併せてメディアにも取り上げていただき、サルビア基金の周知をさらに広げることができ、その広報から新たに自動販売機設置の依頼をいただくという好循環も生まれました。

本年の事業は、コロナ禍が回復して社会が変化していく中で、年度当初の計画から少しずつ背景を変化させつつ事業を構築していく一年であったと感じています。特に子どもたちの生活環境や社会の動きに合わせて状況に応じた内容に修正していくことは変化の激しい時代において、今後も重要となってくるだろうと感じます。

一年間で2つの事業と1つの通年の活動を行いました。初めての理事で委員長を拝命させていただき、様々な壁にぶつかり失敗を繰り返して悔しい思いもたくさん経験しました。しかし、こうして一年間をやり切り、青少年育成委員長として子どもたちの成長に誰よりも貢献したいという私の想いを形にしてくれたのは、委員会メンバーの協力があつたからに他なりません。私自身もチームをまとめていく上で必要なリーダーシップを委員会メンバーから教えてもらい、少しでも自分の力に身につけることができたと感じています。そして、サルビア基金積立活動においてはたくさんの企業様の青少年育成に貢献したい熱い想いをそれぞれお聞きすることができ、委員会としてより自信をもってこの活動を誇りに持てることができました。また、事業を開催するにあたりたくさんのお力添えをいただいた皆様に感謝し、年次報告といたします。一年間ありがとうございました。



スケジュール表

開催日	場所	内容
2022 年 9 月 26 日	ルーム 6 階 uroko	初顔合わせ 基本方針・年間事業概要について 親睦会
2022 年 10 月 17 日	ルーム 6 階	基本方針・年間事業概要について 4 月度例会について
2022 年 11 月 16 日	ルーム 6 階&WEB	基本方針・年間事業概要について 4 月度例会について
2022 年 12 月 5 日	ルーム 6 階&WEB	4 月度例会について 年間スケジュールの確認
2022 年 12 月 12 日	ルーム 6 階	柴田講師と例会打ち合わせ 委員会のビジョンの共有と今後の計画
2023 年 1 月 19 日	ルーム 6 階 ダイニングバー響	4 月度例会について サルビア基金積立活動について 親睦会&誕生日祝い
2023 年 2 月 3 日	柴田講師サロン兼自宅	柴田講師と例会打ち合わせ わくわく講座について
2023 年 2 月 10 日	ルーム 6 階	4 月度例会について サルビア基金積立活動について
2023 年 3 月 6 日	ルーム 6 階	4 月度例会について サルビア基金積立活動について
2023 年 3 月 28 日	ルーム 6 階	柴田講師と例会打ち合わせ 講演内容の確認と資料の確認
2023 年 4 月 12 日	ルーム 6 階	4 月度例会について サルビア基金積立活動について
2023 年 4 月 17 日	ルーム 6 階	4 月度例会について 例会リハーサル
2023 年 4 月 21 日	ルーム 6 階	4 月度例会について 最終リハーサル・準備物用意
2023 年 5 月 9 日	ルーム 6 階 ホルモン酒場 おんどる	4 月度例会決算議案について 9 月度例会について サルビア基金積立活動について 4 月度例会の慰労会
2023 年 6 月 5 日	ルーム 6 階	4 月度例会決算議案について 9 月度例会について サルビア基金積立活動について(現状報告)
2023 年 7 月 11 日	ルーム 6 階	4 月度例会決算議案について 9 月度例会について サルビア基金積立活動について(現状報告)

2023 年 8 月 9 日	ルーム 8 階	9 月度例会について サルビア基金積立活動について(現状報告)
2023 年 8 月 22 日	リモートベース room2	9 月度例会について 資料作成・会場導線の確認
2023 年 8 月 31 日	羽津北小学校	学校訪問（教頭先生・野球少年団ご挨拶） 当日までの段取りと確認
2023 年 9 月 7 日	ルーム 6 階	9 月度例会について サルビア基金積立活動について(現状報告)
2023 年 9 月 15 日	ルーム 6 階	9 月度例会について 例会リハーサル
2023 年 9 月 22 日	ルーム 6 階	9 月度例会について 最終リハーサル・準備物用意
2023 年 10 月 11 日	ルーム 8 階  ホルモン酒場 おんどる	9 月度例会決算議案について サルビア基金積立活動について(現状報告) 9 月度例会の慰労会
2023 年 11 月 15 日	ルーム 6 階	9 月度例会決算議案について サルビア基金積立活動決算議案について サルビア基金型自動販売機について
2023 年 12 月 13 日	鉄板 Bar ブルク	9 月度例会決算議案について サルビア基金積立活動決算議案について 忘年会

## 会員交流委員会

委員長 森山 陽介

本年度は野呂理事長が掲げる「持続可能な幸せをデザインしよう！」のスローガンのもと会員交流委員会として、会員間の交流と対外関係者との友情強化を両輪に活動を進めてまいりました。それぞれの活動から青年会議所会員へ成長の機会を提供し、様々な活動への意欲を向上させていきました。

5月度例会では、四日市JCシニアクラブ会員の皆様にご参加いただき、「創立記念式典」を開催し、四日市JCシニアクラブ会員の皆様と会員が対話をする中で、これまでの四日市青年会議所の歴史や伝統を知り、青年会議所会員としての在り方を学びながら、四日市JCシニアクラブ会員の皆様とのつながりを深めていきました。11月度事業では私たち会員を日頃から支えてくださっている身近な方々をご招待して「四日市スカイランタン®ナイト2023」を開催させていただきました。ナイトキャンドル製作やスカイランタン®ナイトなどの共有体験をしながら交流をする中で、青年会議所活動の一部を知っていただき、これからも私たちを支えていただくきっかけとすることができました。本年度を締め括る12月度例会では「卒業式」として、本年度ご卒業される12名の会員をお祝いする中で、卒業生の想いを次年度以降も在籍する会員が受け継ぎ、これからの青年会議所活動でも活かしていくきっかけとし、様々な活動に取り組んでいく意欲を高めていきました。また、卒業生にとっては青年会議所を卒業したあとも様々なことに取り組んでいくための意欲を高めていただくきっかけとしました。例会や事業のほかにも、会員同士が交流をするために、多くの懇親会を開催してきました。この一年を通して、会員それぞれが目的意識を持ち、交流を通じて多様な個性や価値観に触れ、会員同士のつながり、また、対外関係者とのつながりを深めてまいりました。次年度以降も多様な会員同士が交流する意識を高めていくために交流を促進させていくことで、対内・対外関係者とのつながりが深まり、組織が活性化していくと本年度の活動から確信することができました。

本年度の成果を達成することができたことは、年当初から委員会メンバーが一丸となってそれぞれの目標に向けて一步一步を確実に踏み出すことができたことに他なりません。委員会設立当時より委員会メンバーが減ってしまい一抹の寂しさを感じますが、今の委員会メンバーで達成することができる全力の力を出して本年度を終えることができたことを確信するとともに、ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げ、年次報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2022 年 9 月 22 日	ルーム	初顔合わせ 理事長所信、スローガンについて 会員交流委員会設置について 委員会基本方針について 副委員長、各幹事について 同室委員会について
2022 年 10 月 17 日	ルーム	委員会基本方針について
2022 年 11 月 16 日	ルーム	委員会基本方針について 会員交流委員会の担いについて
2022 年 12 月 5 日	ルーム	委員会基本方針について 5 月度例会について
2023 年 1 月 16 日	ルーム	5 月度例会について 京都会議 LOM ナイトについて
2023 年 2 月 6 日	ルーム	5 月度例会について サマーコンファレンス LOM ナイトについて
2023 年 3 月 6 日	ルーム	5 月度例会について
2023 年 4 月 10 日	ルーム	5 月度例会について 11 月度事業について
2023 年 5 月 9 日	ルーム	5 月度例会について サマーコンファレンス LOM ナイトについて
2023 年 6 月 5 日	ルーム	5 月度例会について 11 月度事業について
2023 年 7 月 10 日	ルーム	5 月度例会について 11 月度事業について 12 月度例会について サマーコンファレンス LOM ナイトについて
2023 年 8 月 21 日	ルーム	11 月度事業について 12 月度例会について 全国大会 LOM ナイトについて
2023 年 9 月 14 日	MG 四日市 会議室 02	11 月度事業について 12 月度例会について 全国大会 LOM ナイトについて
2023 年 10 月 4 日	ルーム	11 月度事業について 12 月度例会について 全国大会 LOM ナイトについて
2023 年 11 月 3 日	ルーム	11 月度事業について 12 月度例会について 忘年会について
2023 年 12 月 13 日		忘年会 11 月度事業について 12 月度例会について

## 事務局

事務局長 刑部聖士  
財務委員長 河本雄次

2023年度野呂理事長が掲げられたスローガンを聞いたときにまず感じた想いは、このスローガンのゴールはどこにあるのかという問が浮かびました。周りの人たちの幸せと自分自身の幸せを考えた時に両立はできるのかどうかという不安がありました。

青年会議所活動に時間を割くことで家族との大事な時間が失われ、仕事にも支障がきたす現実に直面したときには、このまま辞めてやろうかとも思いましたが、思い留まることができたのは事務局メンバーがいたからでした。メンバーは誰一人として弱音を吐かず前を向いている、辛いことも苦しいことも一人ではないと気付かされた時に人の持つ結束という力の凄さに気付くことができました。さらに例会出席率100%達成できる事務局メンバーを誇りに思います。まずもって、自分自身ができることはこの事務局メンバーが前向きに行動するためにどうすれば良いかを考え、結束力を高める工夫を行うなど一日一日を乗り切り今日に至りました。さらには、休会中のメンバーにも、皆で交流が持てたことは本当に良かったと思います。また、常に二人三脚で苦楽を共にした今もこの12月になっても深夜をまわりながらも必死に資料締めを行っている河本財務委員長には心の支えになっていただき感謝しております。彼は常々財務資料を確認していると際には、自身の会社の社員も同じ様な仕事をしている人たちの下支えがあってこそ会社が成り立っている、その大切さに気付いたと感慨深く語っておりました。また、上長である稲垣専務理事には同期入会ということもあり、遠慮されていることもありご迷惑をおかけすることが多かったとは思いますが、お互いに前向きに活動し高め合うことができました。

執行部からご指摘をいただき12月末、今もなお年次報告を作成し皆さんの報告に目を通し一語一句確認する作業をしている中それぞれの例会、事業、出向先やそれぞれの立場から視点での想いを伺い知ることができるのは事務局長ならではの特別な経験であります。

野呂理事長が掲げたスローガンのゴールは恐らくないかと思います。幸せとは欲張りで満たされている時には実感がないものだと考えております。何もなく平穏なことが幸せ、悩んでいる苦しいメンバーがいる時にすぐに行動できる、そんな青年会議所であって欲しいと思います。少なくとも今年の事務局メンバーは相手の気持ちがかみ取れる感度があり、相手のために行動しようとする力がありました。個の力を結集することができれば、明るい豊かな社会の実現ができると信じております。

最後になりますが、成長の機会には平等にある青年会議所の中で一人でも多くのメンバーにその機会を自らの手で掴みとっていただき成長の糧として欲しいと思います。青年会議所活動に後ろ向きだった私が最後の最後に経験し得た物は、友情。その友情という力の凄さを実感することができたことに感謝しております。

一年間ありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2022 年 9 月 26 日	リモートベース adavance	初顔合わせ 2023 年度理事長所信、委員会基本方針、幹事選出について
2022 年 10 月 31 日	ルーム	理事予定者会議報告、委員会基本方針、年間事業概要、第 123 回通常総会について
2022 年 11 月 16 日	ルーム	理事予定者会議報告、委員会基本方針、年間事業概要、第 123 回通常総会について
2022 年 12 月 14 日	ルーム	理事予定者会議報告、第 123 回通常総会について
2023 年 1 月 6 日	ルーム	理事予定者会議報告、第 123 回通常総会について
2023 年 2 月 6 日	ルーム	理事会報告、第 123 回通常総会振返について、第一回臨時総会について
2023 年 3 月 6 日	リモートベース room2	理事会報告、第 123 回通常総会振返について、第一回臨時総会について、第二回臨時総会について
2023 年 4 月 20 日	Zoom	理事会報告、第一回臨時総会について、第二回臨時総会について
2023 年 5 月 22 日	ルーム	理事会報告、第一回臨時総会について、第二回臨時総会について
2023 年 6 月 5 日	ルーム	理事会報告、第一回臨時総会について
2023 年 7 月 10 日	インターベース ROOM2	理事会報告、第二回臨時総会について
2023 年 8 月 21 日	石狩	理事会報告、第二回臨時総会について
2023 年 9 月 22 日	刑部家	理事会報告、第二回臨時総会について
2023 年 10 月 26 日	リモートベース	理事会報告、第二回臨時総会について
2023 年 11 月 21 日	祇園 siguma	理事会報告、例会皆出席記念品について
2023 年 12 月 15 日	家族亭	理事会報告

## 太鼓チーム

打頭	芥川 聡
運営幹事	中山 淳二
会計幹事	蛭波 敬

いつも太鼓チーム活動へのご理解とご協力誠にありがとうございます。  
本年度も無事に太鼓チームの運営ができたのは皆様あってのことだと感じております。  
本年度は新型コロナが完全に収束し、マスクもせず気兼ねなく練習、本番の3日間に臨むことができました。

太鼓チームは先輩方も熱が入るクラブの1つで打頭共々、身が引き締まる思いで今年度の太鼓チーム活動に臨みました。例年、参加していただいているメンバーも練習を盛り上げてくれて本当に感謝の思いでいっぱいです。

そして、本年度から参加していただきました2022年度入会の皆様には右も左もわからない中、全力で太鼓チーム活動に協力していただき心から感謝申し上げます。皆様のおかげで本年度も無事に夏祭りの3日間をやりきることができ、また11月28日に日本青年会議所の皆様の前でも演奏する機会を与えていただきました。

この太鼓チームで培ったものを、今後の青年会議所活動や社業に活かしてまいりたいと思います。

とても充実した太鼓チーム活動になりましたことを、この場をお借りして改めて感謝の気持ちを伝えさせていただきます。

一年間、太鼓チームにご協力いただき誠にありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2023 年 3 月 1 日	服部建設工業	練習
2023 年 4 月 12 日	服部建設工業	練習
2023 年 4 月 26 日	服部建設工業	練習
2023 年 5 月 24 日	服部建設工業	練習
2023 年 6 月 7 日	服部建設工業	練習
2023 年 7 月 19 日	服部建設工業	練習
2023 年 7 月 28 日	服部建設工業	練習
2023 年 7 月 31 日	服部建設工業	練習
2023 年 8 月 2 日	服部建設工業	練習
2023 年 8 月 3 日	服部建設工業	大四日市まつり前日飾りつけ
2023 年 8 月 4 日	四日市市内	大四日市まつり
2023 年 8 月 5 日	四日市市内	大四日市まつり
2023 年 8 月 6 日	四日市市内	大四日市まつり
2023 年 11 月 13 日	服部建設工業	練習
2023 年 11 月 28 日	大正館	グループミーティング演奏
2023 年 12 月 14 日	THE CENTRAL	忘年会

会計報告

1) 収入の部

科目	金額	備考
本会計より	0	
合計	0	

2) 支出の部

科目	金額	備考
合計	0	

3) 余剰金並びに処分

科目	金額	備考
余剰金	0	
合計	0	



## 野球クラブ

キャプテン	杉本 崇
幹事	九鬼 和大

新型コロナウイルス感染症の5類移項に伴い、活動の自粛から解放された年でしたが、三重県内の他の青年会議所野球クラブと行う「7LOM大会」については、開催の調整がつかず、3年連続未開催となりました。しかしながら、「桑名青年会議所との野球交流」においては、平日のナイター開催として四日市市の霞ヶ浦第3野球場にて実施することができました。試合結果は、惜しくも惜敗を喫することとなりましたが、現役所属メンバーだけでなく、研修生にも参加していただき、双方の交流を深めることができました。

四日市青年会議所野球クラブとしての活動はこの桑名との野球交流のみとなりましたが、野球を通じた交流は、より一層チームの絆を深化することにつながりました。また、所属メンバーだけでなく、研修生や応援に来てくれたメンバーに対してクラブを代表して感謝を申し上げます。2023年度で卒業された会員のうち4名が野球クラブに所属していただいております、名実ともに実力のあるメンバーでしたので、大変に名残惜しいものであります。ですが、2024年度はこれまで以上にさらなる交流やつながりの深化に努めてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。一年間ありがとうございました。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2023 年 5 月 26 日	四日市市霞ヶ浦第 3 野球場	一般社団法人桑名青年会議所・ 一般社団法人四日市青年会議所 野球交流  ※7LOM 大会については未開催

会計報告

1) 収入の部

科目	金額	備考
本会計より	20,000	
合計	20,000	

2) 支出の部

科目	金額	備考
施設使用料	8,800	
	11,200	
合計	20,000	

3) 余剰金並びに処分

科目	金額	備考
合計	0	

## じゃがいもクラブ

会長	長谷川 淳士
総括幹事	刑部 聖士
運営幹事	清水 一輝
渉外・宴会幹事	森山 陽介
会計・広報幹事	伊藤 公一
事務局	宮田 知

昨年度の秋の三重ブロック協議会じゃがいもクラブ秋季大会の後、先輩と現役会員が交流する中で、じゃがいもクラブ会長の役職を指名いただき、本年度会長職をお預かりする運びとなりました。2016年の入会から現在まで、じゃがいもクラブには多くの回数参加させていただき、また幹事の役職もいただいたこともあり、2023年度一年間は、業務的に行うのではなく、誠心誠意取組む所存で会長職を受けさせていただいたことを思い出します。2022年度から引継ぎ、まずはなにをやらなければいけないのか、私が今まで経験したことから、このじゃがいもクラブで何を伝えることができるのかを考えました。その中で思ったことは、昔のように先輩方と現役がつながりを深め、和気あいあいとした雰囲気作りをしたいと思いました。その雰囲気を作るには、2023年度幹事団として協力していただいたメンバーの力が不可欠でした。ほとんどの幹事がじゃがいもクラブへの参加は少ないメンバーでしたが、本年度のじゃがいもクラブを通じて、ゴルフが好きになり、また先輩との交流の中で多くの学びを得ていただきたいと思いました。そして、じゃがいもクラブへの参加が少なかった幹事だからこそ、新たな現役メンバーを誘いやすい雰囲気を作り、同好会活動を活性化していきたいと願い、一年が始まりました。実際に始めると、設営面では幹事団の協力もあり、スムーズに進めることができていましたが、動員面では非常に苦勞をした一年でした。一日時間を空けることが難しい方や、今まで参加したことが無いので一步を踏み出すことができない方もおられました。しかし、初めて参加した現役会員からは、非常に楽しいゴルフだったや先輩にゴルフだけでなくJCについても教えてもらえたなど、良かった意見を多くいただきました。じゃがいもクラブで知り合った先輩方とプライベートで付き合いが始まった方も見え、これこそがじゃがいもクラブの良いところだと改めて実感することができました。そして、12月度例会、忘年会では今年一年のつながりから、40名を超える多くの先輩と現役会員が集まっていただき、盛大に終えることができました。

同好会活動は普段話すことがない先輩方と現役会員が交流を持てる機会です。この機会を存分に活用して、つながりを広げていくことこそが同好会の存在意義だと思っています。ゴルフという手法を用いて、会員拡大、会員交流など多くのことにつなげていくことができます。2024年度以降、じゃがいもクラブの体制が変わりますが、本質は変わりません。ぜひとも、多くの方々と交流を通じて、青年会議所運動の発展へとつなげていただけることを願っております。

スケジュール表

開催日	場所	内容
2月3日	いっぺい	幹事会
3月23日	名四ゴルフクラブ	じゃがいもクラブ3月度
3月23日	HILLS 四日市本店	懇親会
4月19日	四日市の里ゴルフクラブ	じゃがいもクラブ4月度
5月17日	ゴルフ5カントリー 四日市コース	じゃがいもクラブ5月度
5月22日	愛岐カントリー倶楽部	日本JC じゃがいもクラブ 2023 年 度 第46回中日本地区大会
6月17日	桑名カントリー倶楽部	じゃがいもクラブ6月度 JCI 桑名・JCI 四日市対抗戦
7月14日	三重カンツリークラブ	じゃがいもクラブ7月度
8月22日	琵琶湖カントリー倶楽部	2023 年度第75回日本JC じゃが いもクラブ全日本選手権大会
9月26日	鈴峰ゴルフ倶楽部	三重ブロック協議会 じゃがいもクラブ秋季大会
10月25日	四日市カンツリークラブ	じゃがいもクラブ10月度
11月10日	グレイスヒルズカントリー倶楽部	じゃがいもクラブ11月度
12月9日	菰野倶楽部ジャック・ニクラウスゴ ルフコース	じゃがいもクラブ12月度
12月9日	プラトンホテル四日市	忘年会

会計報告

1) 収入の部

科目	金額	備考
本会計より	20,000	
合計	20,000	

2) 支出の部

科目	金額	備考
日本JC じゃがいも	20,000	
合計	20,000	

3) 余剰金並びに処分

科目	金額	備考
合計	0	

## 公益社団法人日本青年会議所 派遣報告

### 組織グループ リーダー育成会議

議長	矢野 陽一
総括幹事	藤岡 良輔
委員	石川 史織
委員	杉本 崇
委員	田中 俊太朗
委員	長谷川 淳士
委員	光用 翔太郎

まずは2023年度、公益社団法人日本青年会議所の組織グループ、リーダー育成会議へ出向をさせていただき、また多くの支援をいただき、誠にありがとうございました。このような貴重な機会を与えてくださった野呂理事長をはじめ、四日市青年会議所メンバーの皆様には感謝を申し上げます。

リーダー育成会議では、若者が管理職になりたくないという意識調査や、青年会議所平均在籍年数が4年ばかりと入会年数が少なくても理事や役員を担うこととなる事実の基、リーダーとしてあるべき姿を語り周囲を巻き込みながら実行できる行動力のあるリーダーを育成すべく、年間を通して人財育成の仕組みを構築し、各地域で夢を語り、夢で終わらせず、実行に移す機会と人財を生み出すべくさまざまな事業を行ってまいりました。

まず、夢を語り実践できるリーダーの育成企画、実施とし京都会議やサマコンでメインフォーラムを設営および講演を行い、諦めないこと、自身の夢を語ることの大切さ、周囲を巻き込みながら実行に移していくリーダー像を理解していただきました。

次に組織で活躍できる役員の研修の企画、実施として、今後組織を牽引し各地域社会において活躍する人財を育成するために理念共感プロモーター研修を行いました。本研修には多くの四日市青年会議所のメンバーもご参加いただき、ひいては三重県内で最も多くの理念共感プロモーターを輩出したLOMとなりました。重ねて御礼を申し上げます。

またブロックアカデミーの支援、推進として、ブロック協議会と連携し、ブロックアカデミー設営の支援を行い、ブロックアカデミーが開催される意義や目的を伝え、新たなアカデミーのパッケージを形成し、ブロックアカデミーの存在価値を高める支援と基礎的知識の均一化を図り、運動を展開してまいりました。

そして青年経済人アカデミーの企画、実施を行い、地域のリーダーとして地域の課題解決のためのプロジェクトを構築し展開していくための資質を向上すべく、青年経済人として青年会議所での事業構築の仕組みや課題解決に対する手法の考え方など学ぶべく、青年会議所メンバーの他、市民を対象として実際の行動へと移していく青年経済人を育成することができセミナーを通年事業として企画し実行いたしました。こちらのセミナーにも多くのメンバーの方にご参加いただき本当にありがとうございました。

最後に日本各地から多くのメンバーが出向されており、少しでも青年会議所を良くしたいという熱い想いを持った方々と共に、運動を展開する中で目的に向かう行動力、リーダー像とはなど、多くの学びと経験をいただきました。この出向での学びを次年度以降、四日市青年会議所に還元していきたいと思っております。本当にありがとうございました。

## 東海地区協議会 派遣報告

世界に輝くTOKAI創造委員会  
委員 萩 広光

本年度、日本青年会議所東海地区協議会世界に輝くTOKAI創造委員会に出向させていただきました。四日市青年会議所の皆様からも多くのご支援を賜り感謝申し上げます。

当委員会では、JCI ASPAC ジャカルタ大会ブース構築で東海地区の魅力を感じ広め、興味を持っていただき、東海地区の発展に向けて4県を代表するTOKAIの「食・缶詰」を提供した事業展開を行いました。国内のJCメンバーと海外のJCメンバーが集い交流の機会を通じ、インドネシアの社会経済、宗教や伝統文化、多様性のある人柄の良さを肌で感じ、言葉の壁はありましたが、国境を越えたメンバーとの交流や事業活動は、私にとって人生のなかで、一度しかできない出向経験で貴重な成長の機会となりました。

そして、青少年育成事業では、今後地元で働きたいと思う日本の東海地区に住む16歳～24歳の若者にインドネシアに実際に渡航してもらうことで、日本とは違う歴史や文化を感じていただき、現地のJCIバンドゥンとのパートナーシップを結んで、自国の社会課題に対する考え方や価値観を考えてもらい、インドネシアの学生との同世代交流を行いました。互いの国の社会課題解決に向けて4日間の海外研修と2ヶ月に渡る国内研修・報告会を経て今後、東海地区でリーダーとなり、地域の企業で活躍できることと思います。このような様々な経験と学びを得られたのは、LOMの多くの皆様のご支援がなければできないことと思っております。出向の機会というのは、自身の決断でその機会を掴み、自身成長へとつなげていく、今後も東海地区から国際の機会があれば、出向したいと思います。

一年間ありがとうございました。

## 東海地区協議会 派遣報告

東海フォーラム2023運営委員会  
委員 中山 淳二

本年度、加藤委員長のもと東海フォーラム2023運営委員会に出向いたしました。

出向というものを理解していないまま、また東海フォーラムという事業自体も何を行っているかもわからないままで委員会に出席させていただきました。

誰一人知っている方がいない中、それでも自分の居場所を作ろうと参加メンバー全員に声をかけました。委員長、総括幹事とは同級生ということもあり仲良くしていただきLOMをこえて三重、愛知、岐阜、静岡の方達と交流を交わしていく中で絆が生まれ1つの目標に向かって一致団結して作り上げていくフォーラムは素晴らしいものだなと感じました。

また、自分が出向して委員会みんなで作り上げたフォーラムを四日市のメンバーにも感じてもらいたく参加推進し多くのメンバーにも参加していただき感謝しております。

この一年を通してLOMを越えた出会い、様々な学びがある青年会議所活動。この出向というものは行った人にしかわからない苦労や楽しさ、そして出会いが溢れているものだと感じました。

そして、この機会を自分に与えてくれたLOMに感謝し、また加藤委員長をはじめとする東海フォーラム委員会のメンバーにも感謝し出向者報告とさせていただきます。  
一年間本当にありがとうございました。

## 三重ブロック協議会 派遣報告

地域開発委員会  
委員 藤谷 竜大

2023年度、初めての出向をさせていただき他LOMの方々と交流を持てたことで視野が広がり今後の青年会議所活動を見直すいい経験をさせていただきました。

また、ブロック大会がどのような思いや考えをもって毎年運営、設営をしていただけていることを知ることができました。三重県という地域をどのように盛り上げていくか、卒業生の方々の最後の舞台を用意することを通じて何を伝えてもらい今後の青年会議所に何を残し、何を継承してもらうかを考えていることを知ることができました。前日の準備や各LOMの例会周りなどを通じて三重県内のLOMが結集してできることを行っていくチームワークや様々な考えを共有することで委員会活動の目的や運営方法などをしっかり学べる機会を提供していただきました。今回出向を経験したことで今後、参加に消極的なメンバーに対して委員会の方々がどのような思いで設営や運営を行っているかを伝えることでより多くの参加者を募ることにつながるように努めたいと思います。

大会当日は残念ながら新型コロナウイルスに感染してしまったせいで参加できなかったですがそれまでに経験したことや他LOMの方々との交流のなかで自分自身が青年会議所活動をどのように続けていくかをしっかり見つめ直すいい機会でした。出向でしか知ることができないこともあるということはまだ出向未経験のメンバーにも伝えていくことが出向させていだいた者の責務でもあることを意識して励んでまいりたい所存でございます。



## 三重ブロック協議会 派遣報告

### 組織深化委員会

副会長	仲野	仁裕
副委員長	西田	真之
委員	杉谷	俊輔

今年度私は、公益社団法人日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会に副会長として出向させていただきました。四日市でも執行部まで経験させていただきましたが、ブロックの役員や委員会のメンバーは様々なLOMから様々な人物が参加しており多様な価値観にふれることができ、LOMとは一味違う経験をさせていただくことができました。今年度私が担当した委員会は組織深化委員会という委員会で、JCカップU11-少年少女サッカー大会三重県予選やブロックアカデミーの担当でありました。JCカップU11-少年少女サッカー大会は12歳の選手がレギュラー入りする傾向が強い小学生サッカーの中でレギュラーに選ばれにくい11歳以下に出場年齢を絞り開催されている大会であり、勝ち抜けば世界大会にまで出場できる可能性があります。三重県予選においては「グッドルーザー」の精神のもと開催し、無事グッドルーザーの精神を学んでいただき、子ども達の可能性をまざまざと感じさせていただきました。実に4年振りの開催となったブロックアカデミーでは例年の、体を動かしチームワークを形成し、一体感を感じ仲間意識を醸成すると言う考え方を一新し、青年会議所は何をする団体なのか、青年会議所でしたいこと、できることは何か。参加者の入会時期の制限を無くし、お互いの意見や見解を組み合わせることでさらに良い社会にできるのではないかとといったことを深く考え他者の価値観を学ぶといった設営にしました。協議段階では非常に白熱した議論となりましたが、何とか形にでき、非常に新しい試みとなったのではないかと考えております。この様な経験ができる出向というものは非常に価値があります。確かに時間は使うかもしれませんが、それ以上の学びが必ずあります。時間が許さなくても許すように時間を作り、是が非でも一度は出向してみてください。必ず何か人生の糧となる経験ができます。

最後になりますが、本年度出向の機会を与えてくださった野呂理事長を始めとします一般社団法人四日市青年会議所の皆様、誠にありがとうございました。今年の経験を自身の糧とすることは勿論ですが、必ず四日市青年会議所の成長にもつなげることを約束し、私の出向者報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

## 三重ブロック協議会 派遣報告

社会経済向上委員会  
委員 橋本 友彦

本年度日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会社会経済向上委員会に出向させていただきました一年間活動をさせていただきました。

社会経済向上委員会では、世界に発信できる地域ビジネスを発掘・発信する事業、企業が環境に配慮したmottainai運動の推進、多様性のある組織の確立に向けた情報の発信、中小企業へのウェルビーイング経営の推進を活動の基礎とし風間委員長を始め出向メンバー全員で取り組んでまいりました。

2023年4月に三重県津市にてウェルビーイング経営フォーラムを開催をした際は、委員会メンバー全員で役割を全うし無事に成功したのが私自身の中で大きな成長に繋がったと思います。初めてお会いする出向者メンバーに馴染めるのかなどの不安がある中でも一年間活動ができたのは本当に委員会メンバーに恵まれたと思います。

かけがえのない仲間と共にまちを良くするために時間を共有し顔を合わせ本音で語り合う様は、未来を切り拓く青年の姿であると思います。

本年三重ブロック協議会社会経済向上委員会に出向できた喜びを出向経験のないメンバーに伝える事でさらなる出向をしようと決意するメンバーを一人でも多く輩出する事が私が一年間学んで来た結果にもつながると思います。

最後に、出向でしか味わえない本当にいろいろな多くの貴重な経験や学びをさせていただきました野呂理事長にまず感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

## 三重ブロック協議会 派遣報告

事務局

委員 伊藤 公一

三重ブロック協議会での出向期間は、JAYCEE としての私の経験を豊かにし、LOMの成長に貢献する新しい知識を得る格好の機会でした。この間、組織運営の効率化、チームワークの促進、地域活動等の広範囲に及ぶ事務局業務への理解を深めることができました。

事務局委員としての一年間は、会議運営の支援を基礎としつつ、会場の整備、資料作成、議事録の編集など、多岐にわたる業務に従事しました。これらの責任ある任務を遂行する中で、組織運営の中心となる重要なスキルを身に付け、私の能力を大いに高めることができました。さらに、県内の各LOM から集う多様なメンバーとの交流を通じて、地域固有の特性や文化についての洞察を深めました。

特に心に残っているのは、四日市で開催された会員会議所会議での経験です。未経験の分野であったため、いくつかの困難に直面しましたが、LOM の仲間たちの力強いサポートによって、会議の準備と実施における重要な役割を果たすことができました。この会議の成功は、私にとって感謝の念に満ちた、非常に価値のある経験でした。

三重ブロック協議会での一年は、実務的な事務運営スキルを磨くとともに、異なる視点をもつメンバーと協力することで私の視野を広げる機会でした。得られた経験は、LOMの活動に新しい価値をもたらす大きな糧となります。

この出向で得た学びと経験は、青年会議所の今後の活動において大いに役立つと確信しています。LOMの皆様、三重ブロック協議会の皆様には、この一年間の温かな支援と協力に心より感謝申し上げます。この経験を基盤として、地域社会へのさらなる貢献を目指してまいります。

例会出席率

執 行 部					
理事長	野呂 京志	100	%	98%	
直前理事長	長谷川淳士	100	%		
副理事長	伊藤 尚貴	92	%		
副理事長	後藤 亮太	100	%		
副理事長	長尾 計享	92	%		
専務理事	稲垣 雄介	100	%		
監事	川口 真輝	100	%		
監事	石川 史織	100	%		
顧問	矢野 陽一	100	%		
ビ ジ ネ ス 委 員 会					
委員長	國安院ゆみ	92	%	86%	
副委員長	仲野 仁裕	100	%		
	杉谷 俊輔	67	%		
	渡部 俊也	退会			
ブ ラ ン デ ィ ン グ 委 員 会					
委員長	海老名大樹	100	%	86%	
副委員長	伊藤 公一	75	%		
	近藤 史弥	退会			
	早川 諒	83	%		
ま ち の 未 来 創 造 委 員 会					
委員長	江上 富太	100	%	85%	
副委員長	後藤 純子	83	%		
	秦 美郷	58	%		
	蛭波 敬	92	%		
	光用 翔太郎	92	%		

渉 外 委 員 会					
委員長	清水 一輝	92	%	75%	
副委員長	橋本 友彦	58	%		
	中山 淳二	75	%		
	平井 敦	75	%		
青 少 年 育 成 委 員 会					
委員長	九鬼 和大	100	%	92%	
副委員長	杉本 崇	92	%		
	田中 充彦	83	%		
	藤谷 竜大	92	%		
	宮田 知	92	%		
会 員 交 流 委 員 会					
委員長	森山 陽介	100	%	95%	
副委員長	萩 広光	100	%		
	加藤 信宏	85	%		
	高茂 亮太	100	%		
	藤岡 良輔	100	%		
事 務 局					
事務局長	刑部 聖士	100	%	100%	
財務委員長	河本 雄次	100	%		
事務局次長	田中俊太郎	100	%		
	芥川 聡	100	%		
	尾崎マリ子	休会			
	西田 真之	100	%		

新 入 会 員		
	山本 翔平(2月承認)	退会
	有川 朋邦(4月承認)	92 %
	樋口 裕起(9月承認)	70 %
	木村 卓也(7月承認)	63 %
	中島 和人(7月承認)	89 %
	真弓 裕也(7月承認)	75 %
	伊藤 佑輔(9月承認)	100%
	中野 雄介(9月承認)	86 %
	藤井 浩太(9月承認)	57 %
	森川 真 (11月承認)	50 %
	今井 香里(12月承認)	100%

2023年度 財産目録

2023年12月31日現在								
	本会計	青少年育成 基金会計	基金特別 会計	四日市ＪＣ シニアクラブ会計	四日市ＪＣシニアクラブ 慶弔会計	ＪＣ会館建設 基金会計	70周年準備金 会計	合計
<b>I 資産の部</b>								
1. 流動資産								
①現金預金								
普通預金 北伊勢上野信用金庫 本店 口座番号 1051031	2,109,924							2,109,924
普通預金 三菱東京ＵＦＪ銀行 四日市支店 口座番号 1197006	13,321							13,321
普通預金 三十三銀行 本店 口座番号 700497	0							0
決済性預金 北伊勢上野信用金庫 本店 口座番号 1271439				36,364,161				36,364,161
決済性預金 北伊勢上野信用金庫 本店 口座番号 1072677		12,385,820						12,385,820
決済性預金 北伊勢上野信用金庫 本店 口座番号 1271413			544,821					544,821
決済性預金 北伊勢上野信用金庫 本店 口座番号 1271421						1,046,192		1,046,192
普通預金 北伊勢上野信用金庫 本店 口座番号 1352619					239,306			239,306
②現金		0						
流動資産合計	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	0	52,703,545
2. 固定資産								
①現金預金								
決済性預金 北伊勢上野信用金庫 本店 口座番号 1400389							200,000	200,000
固定資産合計	0	0	0	0	0	0	200,000	200,000
資 産 合 計	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	200,000	52,903,545
<b>II 負債の部</b>								
負 債 合 計	0	0	0	0	0	0	0	0
正 味 財 産	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	200,000	52,903,545

2023年度貸借対照表総括表

2023年12月31日 現在

	本会計	青少年育成 基金会計	基金特別 会計	四日市 J C シニアクラブ会計	四日市 J Cシニアクラブ 慶弔会計	JC会館建設 基金会計	70周年準備金 会計	合計
<b>I 資産の部</b>								
1. 流動資産								
現金預金	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	200,000	52,903,545
流動資産合計	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	200,000	52,903,545
2. 固定資産								
定期預金	0							0
現金預金							0	0
固定資産合計	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>II 負債の部</b>								
負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>								
1. 一般正味財産	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	200,000	52,903,545
正味財産合計	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	200,000	52,903,545
負債及び正味財産合計	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	200,000	52,903,545

2023年度正味財産増減計算書総括表

自 2023年 1月 1日

至 2023年12月31日

	本会計	青少年育成 基金会計	基金特別 会計	四日市 J C シニアクラブ会計	四日市 J Cシニアクラブ 慶弔会計	JC会館建設 基金会計	70周年準備金 会計	内部取引消去	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 受取入会金									
受取入会金	720,000								720,000
② 受取会費									
受取正会員会費	4,920,000								4,920,000
受取賛助会員会費	60,000								60,000
受取新入会員会費	910,000								910,000
受取シニアクラブ会員会費				1,200,000					1,200,000
③ 事業収益									
事業収益									
委員会事業収益									
④ 受取寄付金									
受取寄付金	110,000	382,748							492,748
⑤ 受取負担金									
受取負担金									
⑥ 雑収益									
受取利息収益	31				2				33
その他雑収益	20,034	13							20,047
⑦ 貯蔵品分配収入									
⑧ 他会計からの繰入金									
本会計より繰入					18,150		100,000		118,150
シニア会員会計より繰入									
⑨ 前期事業費より繰入									
経常収益計	6,740,065	382,761	0	1,200,000	18,152	0	100,000	0	8,440,978
(2) 経常費用									
① 事業費									
事業費	1,954,055	42,910							1,996,965
委員会事業費									
② 管理費									
会議費	41,222			50,050					91,272
給与手当	472,765								472,765
通信・発送費	221,641			84,703					306,344
消耗品費	125,568								125,568
印紙製本費	102,800			661,652					764,452
水道光熱費	52,747								52,747
賃借料	1,584,000								1,584,000
インフォメーション関係費	366,580								366,580
渉外費	198,300				27,320				225,620
雑費	72,655			1,650	880				75,185
③ 支払負担金									
支払負担金	930,896								930,896
その他の支出	485,380								485,380
④ 他会計への繰入金支出									0
青少年育成基金会計へ繰入									0
シニア会員慶弔用へ繰入	18,150								0
70周年準備金会計へ繰入	100,000								100,000
経常費用計	6,726,759	42,910	0	798,055	28,200	0	0	0	7,595,924
当期経常増減額	13,306	339,851	0	401,945	-10,048	0	100,000	0	845,054
当期一般正味財産増減額	13,306	339,851	0	401,945	-10,048	0	100,000	0	845,054
一般正味財産期首残高	2,109,939	12,045,969	544,821	35,962,216	249,354	1,046,192	100,000	0	52,058,491
一般正味財産期末残高	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	200,000	0	52,903,545
<b>II 正味財産期末残高</b>	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	200,000	0	52,903,545



2023年度収支計算書総括表

自 2023年 1月 1日  
至 2023年12月31日

	本会計	青少年育成 基金会計	基金特別 会計	シニアクラブ 会員会計	シニアクラブ' 会員 慶弔会計	JC会館建設 基金会計	70周年 準備金	内部取引消去	合計
<b>I 事業活動収支の部</b>									
1. 事業活動収入									
①入会金収入									
入会金収入	720,000								720,000
②会費収入									
正会員会費収入	4,920,000								4,920,000
賛助会員会費収入	60,000								60,000
新入会員会費収入	910,000								910,000
シニア会員会費収入				1,200,000					1,200,000
③事業収入									
事業収入									
委員会事業会計収入									
④寄付金収入									
寄付金収入	110,000	382,748							492,748
⑤負担金収入									
負担金収入									
⑥雑収入									
受取利息	31				2				33
その他雑収入	20,034	13							20,047
⑦貯蔵品分配収入									
⑧他会計からの繰入金収入									
本会計より繰入		0			18,150		100,000		118,150
シニアクラブ慶弔より繰入									0
事業活動収入計	6,740,065	382,761	0	1,200,000	18,152	0	100,000	0	8,440,978
2. 事業活動支出									
①事業費支出									
事業費支出	1,954,055	42,910							1,996,965
委員会事業会計支出									
②管理費支出									
会議費支出	41,222			50,050					91,272
給与手当支出	472,765								472,765
通信・発送費支出	221,641			84,703					306,344
消耗品費支出									
事務消耗品費支出	43,472								43,472
備品費支出	82,096								82,096
印刷製本費支出									
基本資料作成費支出	102,800			642,500					745,300
報告書作成費支出	0			19,152					19,152
水道光熱費支出	52,747								52,747
貸借料支出	1,584,000								1,584,000
前払貸借料支出									
インフォメーション関係費支出	366,580								366,580
渉外費支出									
慶弔費支出	98,300				27,320				125,620
渉外費支出	0								0
国際渉外費支出	100,000								100,000
貯蔵品購入支出									
貯蔵品購入支出									
雑支出									
同好会費支出	40,000								40,000
雑支出	32,655			1,650	880				35,185
③負担金支出									
負担金支出	930,896								930,896
その他支出	485,380								485,380
④他会計への繰入金支出									
シニアクラブ会員慶弔会計へ繰入	18,150								0
青少年育成基金会計へ繰入	0								0
事業活動支出計	6,626,759	42,910	0	798,055	28,200	0	0	0	7,477,774
事業活動収支差額	113,306	339,851	0	401,945	-10,048	0	100,000	0	945,054
<b>II 投資活動収支の部</b>									
1. 投資活動収入									
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出									
70周年準備金積立	100,000								
投資活動支出計	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000
投資活動収支差額	-100,000	0	0	0	0	0	0	0	-100,000
<b>III 財務活動収支の部</b>									
1. 財務活動収入									
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出									
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>IV 予備費支出の部</b>									
当期収支差額	13,306	339,851	0	401,945	-10,048	0	100,000	0	863,204
前期繰越収支差額	2,109,939	12,045,969	544,821	35,962,216	249,354	1,046,192	100,000	0	52,058,491
次期繰越収支差額	2,123,245	12,385,820	544,821	36,364,161	239,306	1,046,192	200,000	0	52,903,545

2023年度収支計算書

自 2023年 1月 1日  
至 2023年12月31日

	予算	決算	差異	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
①入会金収入				
入会金収入	180,000	720,000	540,000	
②会費収入				
正会員会費収入	4,920,000	4,920,000	0	
賛助会員会費収入	60,000	60,000	0	
新入会員会費収入	240,000	910,000	670,000	
シニア会員会費収入	1,440,000	1,200,000	-240,000	
登録料収入	0	0	0	
③事業収入				
事業収入	0	0	0	
委員会事業会計収入	0	0	0	
④寄付金収入				
寄付金収入	520,000	492,748	-27,252	積立活動、卒業生寄付
⑤負担金収入				
負担金収入	0	0	0	
⑥雑収入				
受取利息	2,000	33	-1,967	
その他雑収入	0	20,047	20,047	ダイナースカード還付金
⑦貯蔵品分配収入	0	0	0	
⑧他会計からの繰入金収入				
シニア会員会計より繰入	0	0	0	
本会計より繰入	0	100,000	100,000	70周年準備金口座へ
⑨前期委員会事業費より繰入	0	0	0	
事業活動収入計	7,362,000	8,422,828	1,060,828	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
事業費支出	2,422,000	1,996,965	-425,035	※1支出明細書1
委員会事業会計支出	0	0	0	
②管理費支出				
会議費支出	38,500	41,222	2,722	※2支出明細書1
会議費支出（シニアクラブ分）	0	50,050	50,050	
給与手当支出	1,000,000	472,765	-527,235	
通信・発送費支出	261,500	221,641	-39,859	
通信・発送費支出（シニアクラブ分）	200,000	84,703	-115,297	
消耗品費支出				
事務消耗品費支出	60,000	43,472	-16,528	
備品費支出	150,000	82,096	-67,904	
印刷製本費支出				
基本資料作成費支出	102,800	102,800	0	
基本資料作成費支出（シニアクラブ分）	642,500	642,500	0	
報告書作成費支出	0	0	0	
報告書作成費支出（シニアクラブ分）	100,000	19,152	-80,848	
水道光熱費支出	60,000	52,747	-7,253	
賃借料支出				
賃借料支出	1,584,000	1,584,000	0	
インフォメーション関係費支出	353,300	366,580	13,280	
渉外費支出				
慶弔費支出	70,000	98,300	28,300	
慶弔費支出（シニアクラブ会員分）	0	27,320	27,320	
渉外費	70,000	0	-70,000	
国際渉外費支出	100,000	100,000	0	
貯蔵品購入支出				
貯蔵品購入支出	0	0	0	
雑支出				
同好会費支出	40,000	40,000	0	※3支出明細書1
雑支出	70,000	32,655	-37,345	
雑支出（シニアクラブ会員分）	0	2,530		
③負担金支出				
負担金支出	878,286	930,896	52,610	※4支出明細書1
負担金支出（Kシニアクラブ会員分）	0	0	0	
その他支出	426,000	485,380	59,380	※5支出明細書1
④他会計への繰入金支出				
本会計へ繰入	0	0	0	
シニア慶弔会計へ繰入	0	0	0	
⑤予備費	0	0	0	
事業活動支出計	8,628,886	7,477,774	-1,151,112	
事業活動収支差額	-1,266,886	945,054	2,211,940	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0		
2. 投資活動支出				
70周年事業積立	0	100,000	100,000	
投資活動支出計	0	100,000		
投資活動収支差額	0	-100,000	-100,000	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
<b>IV 予備費支出の部</b>				
当期収支差額	-1,266,886	845,054	2,111,940	
前期繰越収支差額	52,058,491	52,058,491	0	
次期繰越収支差額	50,791,605	52,903,545	2,111,940	

※1【事業費支出明細書】

科目	①予算	②総事業費	③本会計負担金	④差異(③-①)	登録料等収入
ビジネス委員会	268,000	261,070	261,070	-6,930	0
ブランディング委員会	140,000	88,750	88,750	-51,250	0
まちの未来創造委員会	420,000	404,880	404,880	-15,120	0
渉外委員会	400,000	347,355	347,355	-52,645	0
青少年育成委員会	300,000	279,450	279,450	-20,550	0
サルビア基金交付事業	262,000	42,910	0	-262,000	0
サルビア基金積立事業	38,000	0	0	-38,000	382,748
会員交流委員会	594,000	572,550	572,550	-21,450	0
事務局	0	0	0	0	
合計	2,422,000	1,996,965	1,954,055	-467,945	382,748

※2【会合費支出明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
総会会場費	38,500	41,222	2,722	
総会会場費（シニアクラブ分）	0	50,050	50,050	
理事会会場費	0	0	0	
合計	38,500	91,272	52,772	

※3【同好会費支出明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
太鼓チーム	0	0	0	
野球クラブ	20,000	20,000	0	
じゃがいもクラブ	20,000	20,000	0	
合計	40,000	40,000	0	

※4【負担金支出明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
日本J C会費	240,000	240,000	0	
日本J C新入会員会費	50,000	45,000	-5,000	10名追加分
J C I 会費	90,636	112,216	21,580	2,158円*10名追加
国際協力資金	76,650	94,900	18,250	1,825円*10名追加
京都会議会費	8,000	8,000		
東海地区協議会費	105,000	110,000	5,000	2,500円*2人追加
三重ブロック協議会会費	147,000	154,000	7,000	3,500円*2人追加
三重ブロック会員大会負担金	84,000	90,000	6,000	
商工会議所会費	14,000	14,000	0	
海洋少年団育成費	50,000	50,000	0	
四日市市青少年育成市民会議会費	2,000	2,000	0	
大四日市まつり協賛金	5,000	5,000	0	
四日市花火大会協賛金	0	0	0	
社会福祉協議会会費	6,000	5,780	-220	
四日市ハーフマラソン協賛金（JCシニアクラブ会員分）	0	0	0	
合計	878,286	930,896	52,610	

※5【その他支出支出明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
JCIピンバッジ	16,000	36,190	20,190	
ネームプレート	24,000	24,640	640	
WE BELIEVE	150,000	134,750	-15,250	
職員健康診断	9,000	0	-9,000	
労働保険料	11,000	0	-11,000	
日本JC出向LOM負担金	140,000	140,000	0	
登記費用	51,000	50,000	-1,000	
法市民税	25,000	25,000	0	
卒業生記念品	0	52,800	52,800	12名
例会皆出席記念品	0	22,000	22,000	20名
合計	426,000	485,380	59,380	

【事務関係費明細書】

科目	予算	決算	差異	備考
給与	1,000,000	472,765	-527,235	
通信・発送費	261,500	221,641	-39,859	
通信・発送費（シニアクラブ分）	200,000	84,703	-115,297	
事務室賃借料	1,584,000	1,584,000	0	
事務室水道光熱費	60,000	52,747	-7,253	
事務消耗品費	60,000	43,472	-16,528	
基本資料作成費	102,800	102,800	0	
基本資料作成費（シニアクラブ分）	642,500	642,500	0	
報告書作成費	0	0	0	
報告書作成費（シニアクラブ分）	100,000	19,152	-80,848	
インフォメーション関係費	353,300	366,580	13,280	
備品費	150,000	82,096	-67,904	
慶弔費	70,000	98,300	28,300	
慶弔費（シニアクラブ分）	0	27,320	27,320	
渉外費	70,000	0	-70,000	
国際渉外費	100,000	100,000	0	
雑費	70,000	32,655	-37,345	
雑費（シニアクラブ分）	0	1,650	1,650	振込手数料
雑費（シニアクラブ慶弔費分）	0	880	880	
合計	4,824,100	3,933,261	-890,839	

入会・休会・退会者

【入会】	山本	翔平	2月 2日	
	有川	朋邦	4月 4日	
	木村	卓也	7月 4日	
	中島	和人	7月 4日	
	真弓	裕也	7月 4日	
	樋口	裕起	9月 5日	
	伊藤	佑輔	9月 5日	
	中野	雄介	9月 5日	
	藤井	浩太	9月 5日	
	森川	真	11月 2日	
	今井	香里	12月15日	
	【休会】	尾崎	マリ子	1月 4日      ～ 12月31日
		近藤	史弥	3月 2日      ～ 8月1日
【退会】	山本	翔平		
	近藤	史弥		
	渡部	俊也		

## 卒業生

芥川 聡  
川口 真輝  
中山 淳二

江上 富太  
國安院 ゆみ  
平井 敦

刑部 聖士  
後藤 純子  
藤岡 良輔

尾崎 マリ子  
長谷川 淳士  
矢野 陽一

## シニアクラブ会員

岡田 卓也  
林悦 夫  
村山 喜一  
服部 幸男  
山路 恭三  
桑内 蕃  
鈴木 正勝  
月野 光政  
堀木 紀徳  
本山 正城  
北岡 泰爾  
小林 宏祐  
石井 文彦  
豊田 衛  
安藤 信行  
小川 硬一郎  
生川 平藏  
仲野 弥和  
阿竹 一之  
小林 一成  
鈴木 康之  
岡本 和康  
木村 哲美  
滝本 永次郎  
市川 保郎  
伊藤 道郎  
野呂 知生  
矢野 正剛

水谷 春三  
別所 幸蔵  
松嶋 英男  
宮嶋 邦彦  
石津 英尚  
佐治 英三  
野沢 尚高  
大久保 尚一  
永田 正巳  
村木 敏雄  
中村 公一  
中島 泰浩  
熊野 孝幸  
萩野 賢司  
青山 學  
栗原 正明  
山下 久三  
三輪 和豊  
加藤 隆俊  
田村 博志  
三平 一良  
清水 常雄  
古市 利光  
清水 良  
大山 吉久  
前岨 裕三  
三田 高司  
関恒 美

伊藤 武夫  
島田 豊  
山本 登  
中嶋 昇  
小林 昂司  
和田山 恵三  
高井 良司  
伊藤 英二  
伊藤 洋和  
田中公一  
伊藤 昌男  
村川 賢一郎  
生川 鐵雄  
東川 強  
米山 茂  
篠宮 義和  
鈴木 幹雄  
早川 廣  
伊藤 和彦  
宮崎 由至  
塚松 博文  
伊藤 隆  
森川 道博  
光用 敬一  
大橋 正行  
坂照 明  
上田 末広  
伊藤 正衛

中嶋 正  
豊田 良郎  
平野 太七  
永井 啓武  
高橋 一三  
内田 優  
森勝 幸  
山手 幹郎  
渡辺 久和  
伊藤 輝文  
伊藤 勘作  
今村 良隆  
水谷 俊二  
千賀 範昭  
竹内 裕  
西野 光之  
中島 和弘  
加藤 幾恒  
竹内 稔  
木下 弘  
長谷川 芳之  
伊藤 一美  
太田 恒久  
平田 耕一  
牧野 一己  
服部 富男  
渡辺 八尋  
高橋 良太

前	川	克	典	田	中	眞	禪	杉	本	雅	俊	山	路	和	良
宇	野	誠		森	崎	誠	二	川	村	武		鈴	木	順	一
西	正	敏		澤	田	秀	次	斎	木	俊	洋	堀	木	俊	男
井	手	広	行	田	中	克	宜	渡	部	俊	郎	浅	野	年	嗣
小	林	泰	子	田	中	邦	洋	真	田	文	雄	中	林	史	雄
吉	田	泰	宣	田	中	俊	行	川	村	美	治	市	川	典	彦
神	田	博		飯	嶋	清	和	山	本	行	恭	谷	口	龍	次
浅	井	清	司	内	田	嘉	衛	南	川	功		伊	藤	康	二郎
杉	野	克	幸	鈴	木	幸	志	渡	邊	正	夫	森	本	恵	幸
鈴	木	勝	士	高	尾	明	宏	大	矢	知	直	岡	田	克	也
山	本	歩		小	林	正	克	松	岡	武	男	三	谷	新	市
森	本	晋	司	浅	岡	史	郎	小	川	庄	治	矢	野	正	則
塩	川	彰	彦	宮	田	佳	典	古	川	典	明	中	澤	明	彦
藤	岡	傳		陣	田	清	士	長	谷	川	孝	伊	木	栄	次
細	野	和	美	中	川	直	之	鈴	木	茂	仁	市	川	勝	示
大	谷	浩	信	長	谷	川	裕	山	田	幸		後	藤	伸	一郎
中	村	良	人	渡	辺	順	吉	平	松	俊	範	山	路	熟	
梅	田	次	男	伊	藤	幸	昌	廣	田	隆	俊	廣	瀬	良	平
中	澤	秀	之	山	下	邦	男	小	川	真	也	青	山	弘	忠
伊	藤	文	夫	松	山	樹	雄	稲	垣	嘉	英	森	弘	尚	
北	川	隆	宏	村	田	嘉	宏	関	井	恵	秋	寺	本	豊	
石	田	稔		清	水	研	志	渡	辺	義	之	矢	田	正	喜
佐	藤	寿	洋	伊	藤	康	彦	今	村	佳	央	鈴	木	嘉	美
小	林	敏	孝	久	志	本	稔	森	公	平		三	宅	康	夫
黒	田	成	水	和	田	山	久	五	味	昌	純	西	岡	仁	
藤	谷	俊	文	堀	江	勝	也	伊	藤	正	俊	石	垣	宏	
森	下	育		門	井	恵	介	赤	塚	永	二	黒	田	和	宏
小	林	正	直	水	谷	勝	也	生	川	正	洋	伊	藤	正	章
豊	田	晃		木	下	卓	也	田	中	俊	徳	阪	倉	光	弘
奥	山	眞	弘	萩	文	三	男	杉	本	利	光	伊	藤	旬	
山	川	成	喜	中	野	勝	方	山	本	浩	明	佐	藤	勝	教
大	森	弘	明	服	部	幸	暢	高	橋	正	浩	岩	崎	哲	治
伊	藤	慎	志	杉	本	成	彦	樋	口	博	也	坂	口	誠	
水	谷	潤	治	新	渡	辺	誠	前	川	恭	範	長	谷	川	雅
増	田	靖	治	木	村	高	敏	山	路	政	毅	藤	原	和	彦
鈴	谷	久	弥	林	典	弘		難	波	修	二	矢	野	晶	久
松	中	幸	一	柳	川	信	裕	水	谷	保	雅	萩	野	昌	毅
竹															

伊堤寺松野萩小佐西岡奥上荒田西山小伊小伊南土松矢中山西舟近中萩樋岩北中小水伊	藤淑本岡村原川野瀧田野岡本林藤川部田林下口山藤川野尾井岡村川藤	靖明匡伸幸宏武貴光良真治泰裕陽伊千勝一浩義繁勝朋五知義順健重隆賢吉晃周彰	則宏年廣林士信夫太一生次也一仁秋美隆実幸人敬久大克則幸二愛樹幸均範司	清水瀨川田木崎藤野山路山賀智岡松前説益大山伊谷稲村伊大橋飯向山佐塚佐々田福津田大石	大勝貴直隆省昌恭靖洋宏弘光有篤誠悟吉和昭雄達浩将健久修賢松木中村田中久岡	喜也子生弘吾和司人靖洋朗高一恒夫人弘輝義哉次臣作夫一輔也仁雄隆直裕	豐萩矢杉服高伊岡阪若西中西児伊久佐西長森吉石勝平小市服小佐渡服西森脇安木若樋	田原野本部野藤本元林原川岡玉東留美藤林谷由原井田林川部松藤邊部原尚藤村林口	政正克雅好泰裕浩圭弘朋康朋光學美秀直恭起智卓敦裕勇哲寿將聡貴昭泰輝辰龍	典彦尚照美宏司延介樹宏洋晃晃樹治裕子志光也久也隆史也哉充子明也秀也馬	早堀加山波今水小伊高菊宇嶋水北仲吉中伊服樋伊竹江山保伊岡藤芳石佐大山熊宮堀金	川内藤崎田井野林藤森池佐田谷岡井富村藤部口藤内間本位藤本村野脇住田野崎木龍	昌孝万博武利三正洋裕雄義吉克太誠直隆正晃裕章理寿敬真克淳貴正大智顯菜光由博植	彦二明樹昌弥幸介式一秀之輔民也宏人典貴史明吾弥貴英輔成成々洋太貴
--	---------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	---	--------------------------------------	-----------------------------------	--	---------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	--	---------------------------------------	--	----------------------------------



森 寺 奉 仁  
川 崎 嘉 大  
笠 原 幸 枝  
多 田 隼 人  
石 橋 朋 和  
橋 本 和 幸  
橋 本 真 宏  
大 佛 康 二  
森 谷 貢  
西川(高木)友絵  
大 谷 常 雄  
清 水 良 保  
生 川 雄 規  
藤 原 雄 太朗  
伊 藤 勝 利  
平 野 貴 之  
太 田 匡 彦  
平 松 大 輔

伊 藤 元 英  
渡 辺 大 雄  
内 山 武 将  
岡 村 善 成  
森 智 広 規  
松 本 康 規  
江 川 稔 介  
里 中 祐 司  
岡 田 圭 司  
赤 塚 新 豪  
喜 納 理 介  
鈴 木 浩 義  
西 川 晴 輝  
山 路 幸 士  
伊 藤 将 樹  
福 村 和 輔  
大 谷 健 輔  
古 川 泰 久

深 水 陽 介  
矢 田 武 賜  
中 澤 義 一  
阿 竹 一 仁  
竹 内 俊 介  
光 本 尚 貴  
前 田 大 輔  
萩 村 健  
江 間 卓 也  
佐 野 貴 代  
式 井 一 博  
田 村 尚 也  
西 田 太 郎  
山 中 明 善  
徐 正 和  
山 路 雄 一朗  
春 日 孝 夫

川 北 篤 夫  
大 西 岳 臣  
見 取 貴 輔  
加 納 大 壽 德  
有 吉 大 輔  
坂 川 曜 一郎  
柳 田 富 太郎  
平 羽 昌 邦  
丹 藤 恵  
伊 谷 文 昭  
洪 山 龍 登  
鉛 本 剛  
橋 本 剛  
泉 晃 多  
西 尾 信 太郎  
伊 藤 祐 一  
辻 中 秀 明

以下の通り報告いたします。 2024年01月03日

理事長			野呂 京志
直前理事長			長谷川淳士
副理事長			伊藤 尚貴
副理事長			後藤 亮太
副理事長			長尾 計享
専務理事			稲垣 雄介
監事			川口 真輝
監事			石川 史織
顧問			矢野 陽一
理事	ビジネス委員会	委員長	國安院ゆみ
理事	ブランディング委員会	委員長	海老名大樹
理事	まちの未来創造委員会	委員長	江上 富太
理事	渉外委員会	委員長	清水 一輝
理事	青少年育成委員会	委員長	九鬼 和大
理事	会員交流委員会	委員長	森山 陽介
理事	事務局	事務局長	刑部 聖士
理事	事務局	財務委員長	河本 雄次

以上の通り相違ありません。

監 事	川口 真輝
監 事	石川 史織